



一名 養蚕改良高山社来歴

高山正江五郎氏傳



K631
サ32

高山長五郎傳一名養蠶改良高山社來歴

凡 例

一本書題シテ「高山長五郎傳一名養蠶改良高山社來歴」ト云フ、コレ創業ノ殊功ヲ奏シタル故人高山長五郎ノ功勞ヲ序シ、併セテ守成ノ難業ヲ保全擴張セル現任正副社長ノ小傳ヲ列記シテ、高山社ノ發端ヨリ今日ニ至ル來歴ヲ明ニセントスルニアリ

一挿入セシ故人高山長五郎君ノ寫眞ハ、君ガ年齡五十有ニノ時ニ撮影シタル所ノモノニシテ、現社長町田菊次郎君ノ肖像ハ、明治二十二年ニ於テ撮影シタルモノナリ

一書中、縣名郡名ノ重複スル所往々之アリ、コレ縣郡町村ノ明瞭ヲ欲シテ其煩雜ヲ厭ハザリシニヨル

凡 例

(〇一)

一書中、地方長官ヲ呼ンデ縣令ト云フ所アリ、コレ其當時ノ稱呼ニ從ヒタルモノナリ、敢テ他意アルニアラズ

一地方別社員姓名ハ明治二十七年上半期ニ於ケル現在ナリ

一卷中、在群馬縣社員ノ掲載ヲ見合セタルハ、高山社ガ如何ニ日本全國ニ勢力アルカヲ示サント希圖シタレバナリ、其群馬縣ニ於ケル勢力ノ如キハ今更云フノ必要ナキニヨル

一「養蠶改良高山社規則」ハ明治二十七年三月ヲ以テ改正シタル所ノモノナリ

一本書編纂ニ際シ高山社員中辱知ノ輩數氏ガ參考トシテ材料ヲ供シタル其勞沒スヘカラザル所ノモノアリ、記シテ茲ニ其恩ヲ謝ス

明治二十七年 月

著者 識

高山長五郎傳一名養蠶改良高山社來歴目次

第一章	家系……………	一頁
第二章	高山村……………	二頁
第三章	弱年……………	二頁
第四章	家系相續……………	三頁
第五章	養蠶事業ノ辛苦……………	五頁
第六章	養蠶事業ノ辛苦ニ伴ヒシ辛苦……………	一三頁
第七章	辛苦ノ結果及ビ晩年……………	一八頁
第八章	公共事業……………	二二頁
第九章	開墾ノ先鞭……………	二八頁
第十章	友愛ノ至情……………	二九頁

故社長高山五郎君之肖像



目次

(四)

第十一章	慈善的行爲	三〇頁
第十二章	賞典	三二頁
第十三章	君逝テ芳名愈々高シ	三三頁
第十四章	町田菊次郎	四一頁
第十五章	高山武十郎	五二頁
第十六章	高橋茂太郎	五七頁
第十七章	高山社ハ藤岡町ノ高山社ニ非ズシテ日本國ノ高山社ナリ	六〇頁
第十八章	養蠶改良高山社規則	一一六頁

目次終

故社長高山五郎君之肖像



目次

(〇四)

第十一章	慈善的行爲	三〇頁
第十二章	賞典	三一頁
第十三章	君逝テ芳名愈々高シ	三二頁
第十四章	町田菊次郎	四一頁
第十五章	高山武十郎	五二頁
第十六章	高橋茂太郎	五七頁
第十七章	高山社ハ藤岡町ノ高山社ニ非ズシテ日本國ノ高山社ナリ	六〇頁
第十八章	養蠶改良高山社規則	一一六頁

目次終

現社長町田菊次郎君之肖像



高山長五郎傳一名養蠶改良高山社來歴

新井茂平編纂

第一章 家系

高山重禮通稱ハ長五郎、群馬縣綠野郡高山村現今ノ美九里村大字高山村ノ人ナリ、姓ハ平氏、其先、高山遠江守滿重ヨリ出ツ、永祿年間、滿重、管領上杉憲政ニ從ヒテ高山城ニ居リ、其子、右馬助重正ニ至リ、初メテ武田氏ニ隸シ、後、小田原北條氏ニ屬ス、北條氏亡ヒテ後、遂ニ高山村ニ住ス、重禮ニ至リ凡ソ十五世、其間邑ノ豪族タリ、重禮ハ寅三ノ次男ニシテ母ヲ「サヨ」ト云フ、天保元年四月十七日ヲ以テ生ル

家系

(一)

第二章 高山村

高山村ハ綠野郡ノ西南部、御荷鉾山ノ東北五里ノ所ニ在リ、戸數大凡八十戸ノ一小村落ニシテ、三方ハ山岳ヲ以テ圍繞シ、唯タ僅カニ東部ノ一方ヲ開ケリ、君ガ邸宅ハ村落ノ東部ニ位シテ南面ス、其結構タル、前面ハ切リ石ヲ疊ミ上ゲテ基礎ヲ高フシ、背後ニ山ヲ負ヒ、左右ハ桑園ヲ挾ンテ建築シタル大厦ナリ、更ニ前面石垣ノ下、道路ニ沿フテ潺湲タル溪流アリ、名ケテ三名川ト云フ、蓋シ山水靈秀ノ氣ノ鍾マル所ナリ

第三章 弱年

君、弱年ニシテ慈母ヲ喪ヒ、嚴父ト祖母ノ訓育スル所トナル、嚴父ハ戸田藩士ニシテ學問技藝ニ長セリ、故ニ君カ讀ミ書キ十露盤ノ藝術ハ、夙ニ

近隣ノ子弟ト俱ニ嚴父ノ教育スル所トナレリ、祖母ハ志、養蠶事業ニ篤ク、期節來レハ常ニ君ヲ擁シテ斯業ニ從事シ、俱ニ厭倦ノ狀ヲ現ハシタルコトナシト云フ、他日君カ斯業ヲ大成スルニ至リタルハ、蓋シ其基因茲ニ發セシナラン

第四章 家系相續

君カ四世ノ祖ハ、其名、君ト等シクシテ長五郎ト云ヒ、財産家ヲ以テ近隣ニ聞エタリ、嗣子勇右衛門、豪放不羈、公共ニモ私事ニモ、金錢ヲ消費スルコト殆ント塵埃ヲ捨ルカ如シ、故ニ名聲ハ日ニ月ニ四隣ニ高マリ、誰一人ト雖モ門前ヲ乘馬スルモノナク、又理カ非ナリト雖モ抵抗ヲ試ミルモノナキニ至レリ、氏カ勢力名聲ノ此ノ如ク隆ナルニモ拘ハラズ、不幸ニモ男子ノ以テ氏ヲ相續スヘキモノナシ、晩年ニ至リ氏竊カニ謂ラク

予カ門閥ノ豪族ナルト、予カ生活ノ華美ニシテ、兼テ公私ノ失費ヲ吝マサルトニヨリ、近隣ノ人々予ヲ推シテ痛ク尊重スルニ至レリ、サレハ予カ家ヲ相續經營スルモノハ、宜シク外ハ以テ此等人民ノ敬服信用ヲ買フニ足ルノ力量才學ナカラサルヘカラス、内ハ以テ家庭ノ模範タラサルヘカラスト玆ニ標準ヲ定メ、人ヲ諸方ニ介シテ之ヲ搜索セリ然リト雖モ、當時農商子弟中ニ於テ、此ノ如キ人物ヲ見出スコト甚タ容易ナラサルヲ以テ、大ニ煩悶セリ、月ヲ越エ年ヲ閱シテ、漸ク戸田藩中ニ於テ之ヲ得、養フテ「サヨ」女ニ配セリ、即ハチ戸田藩士小林源左衛門ノ次男寅三コレナリ、寅三、勇右衛門ノ後ヲ承ケテ嗣子トナリ、名譽アル祖先ノ体面ヲ保チ、近隣ノ子弟ヲ教育シテ大ニ人々ノ敬愛ヲ博シ、意ヲ農桑上ニ用キタリ、然リト雖モ、氏固ト武人ニシテ、農桑生産事業ノ如キハ、其得意トスル所ニアラサルヲ以テ、晩年、五男九藏現今ノ競進社々長木村九藏ヲ

拉ナヒ、全縣多胡郡下日野村ニ退隱シ近隣ノ子弟ヲ訓陶シテ天壽ヲ養ヘリ、今ヤ君祖父勇右衛門ガ巨額ノ財産ヲ消費シ、續キテ嚴父寅三カ家人ノ生産ニ熱心ノ度薄カリシ、二重ノ餘弊ヲ承ケテ家督ヲ相續セリ、時ニ弘化四年ニシテ、君カ十又八ノ年ナリ

第五章 養蚕事業ノ辛苦

君、年十八ニシテ、彼カ如キ祖父ト、此ノ如キ嚴父トノ後ヲ承ケテ家督ヲ相續シ、身ヲ人生々活ノ活劇場裡ニ投セリ、後數年、君謂ラク「將來有望ノ事業ハ、養蠶ニ如クモノナシ」ト乃チ奮フテ斯業ニ從事シ、拮据黽勉蠶兒ヲ飼育シテ倦ムコトナク、一舉シテ數十百金ヲ得ンコトヲ期セリ、圖ラサリキ、上簇期ニ近ツキシニ、蠶兒概テコシヤリ病ヲ以テ斃死シ、諸計費萬端及ヒ尠カラサル勞力ニ報ユルコトナクシテ、失敗ニ終ラントハ、玆

ニ於テ君落胆失望セリ、サレト、此ヲ已ムヘキニアラサレハ、自ラ勵マシテ漸ク志ヲ決シ、男子タルモノ、僅ニ一回ノ失敗ニ懲リテ事業ヲ中止セシカ、到底何事ヲモ成功スルノ期ナカルヘシ、如カス第二回ヲ試ミテ好成绩ヲ得、第一回ノ失敗ヲ償ハンニハト即チ一層ノ工夫ト精神トヲ凝シテ、全一事業ニ從事セリ

此第二回ノ養蠶事業ニ於テハ、第一回ニ比シテ多少有望ノ地位ニ進メリ、換言スレハ、第一回ノ欠点ヲ補ヒ、戒心ヲ加ヘタレハナリ、然ルニ、此亦等シク失敗ノ不幸ニ陥レリ、君一方ニハ喫驚狼狽シ、他方ニハ溪流ノ岩石ニ觸レテ躍ルカ如ク、感奮興激シテ一倍ノ勇氣ヲ加ヒ、更ニ第三回ノ事業ニ進メリ、而シテ此亦失敗ニ終レリ、此ノ如ク反覆スルコト累年ナリ、君夙ニ、一事一業ヲ成就スルニ當リテハ、蟠根錯節ノ前路ニ横ハルアリテ、心身ヲ煩悶勞苦スルコトノ免カレ難キコトヲ感念セリト雖モ、累

年ノ失敗ハ君ノ英氣ヲ挫折シテ、殆ント頭ヲ擡クルコト能ハサルノ境界ニ陥落セリ

君、憂慮煩悶中、偶々弟九藏ノ、隱宅ニ於テ飼育セシ蠶兒ノ成繭善良稀有ニシテ、價格普通ニ倍スルモノヲ見、思ハス手ヲ拍チテ大ニ喜ヒ、其未タ遽カニ絶望スヘキノ時ナラサルヲ覺リ、翌年、弟ヲ自宅ニ招キテ相俱ニ事業ニ奮勵シ、充分ノ効果ヲ收メンコトヲ圖リテ飼育ニ從事セリ、豈料ランヤ、此亦蠶兒大概コシヤリ病ヲ以テ斃死失敗セントハ、次年亦然リ君獨リ熟々考フルニ、飼育上利益トシテ爲スヘキモノハ之ヲ成シ、有害トシテ卻クヘキモノハ之ヲ卻ケテ更ニ餘蘊アルコトナシ、而シテ成果此ノ如シ、尙ホ未タ經驗知識ノ足ラサルカ、如何ニスヘキカ、如何ニセサルヘカラサルカト至誠ノ念ハ凝ツテ遂ニ神佛ニ祈請スルニ至レリ、君一日俄然悟ル所アリテ育場ノ適否ニ注心留意セリ、謂ラク

弟カ蠶兒ヲ隱居ノ樓上ニ養ヒテ收繭拔群ナリシハ、室内狹隘ニシテ
 爐火常ニ快温ヲ蓄ヒ、光線ハ透徹シテ陰翳ナキニ由ルモノナラン之
 ニ反シ、テ予カ家タル村内第一ノ古屋ニシテ而モ壯大ナレハ、自然空
 氣ノ流通光線ノ透徹ニ便ナラス、是ヲ以テ、床下常ニ冷濕氣ノ停滯ヲ
 免カレス、蚕兒斃死ノ原因必ス之ニ在ラン、如カス蚕兒飼育上ノ便宜
 ヲ圖リテ、是ヲ改築スルニハ

ト、直ニ其設計ニ着手シタリ、然レモ尙ホ未タ躊躇スル所ノモノアリテ
 存ス、曰ク「此大厦ヲ築造シテ之ヲ今日ニ傳ヘタル、祖先ノ辛苦經營果シ
 テ如何、之ヲ思ヒ彼ヲ考フレハ之ヲ保存スルノ孝子ニシテ之ヲ取崩ス
 ノ不孝タラサルナキヲ得ンヤ」ト進退谷マリテ熟慮スルコト時アリ漸
 ク意ヲ決シテ謂ラク

抑モ祖先カ養蚕飼育ニ不適當ナル此大厦ヲ、予ニ與ヘテ繼續セシメ

タルハ、予ヲシテ養蚕飼育ニ勉勵シ、斯業上一大改良ヲナサシメンガ
 爲ニ、刺激ノ好材料ヲ供シタルモノナリ、予ニシテ若シ此家屋ニ於テ
 飼育スルコトナカランカ、蓋シ今日ノ如ク斯業ニ熱中奮激スルニ至
 ラズシテ、或ハ小成ニ安ンジタルヤモ斗リ難シ、然ラハ即チ之ヲ取崩
 シテ飼育ニ適當ナル家屋ヲ改築スルハ、祖先ニ對シ不孝ナルニアラ
 ズシテ、寧ロ祖先ノ深意ヲ奉ジ併セテ予ノ天職ヲ盡スモノナリ

ト、涙ヲ吞ンテ斷然祖先傳來ノ大厦ヲ取崩シ、之ヲ嚮キテ、新ニ數場連接
 ノ飼育室ヲ建築セリ

新築ノ家屋ハ蚕兒飼育上頗ル便宜適當ナル体裁ヲ備ヘリ、君竊ニ謂ラ
 ク「此飼育室ニ於テ飼育セバ、必ス充分ナル好果ヲ得ル、掌ヲ指スカ如ク
 ナラン」ト新鮮ノ勇氣ト勤勉トヲ以テ飼育ニ從事セリ、而シテコレ亦前
 年ノ覆轍ヲ蹈メリ、茲ニ於テ君大ニ沮喪激動シ、天道ハ果シテ是カ非ナ

ルカヲ疑フニ至レリ、君潛心熟慮シテ

飼育場ハ既ニ新築セルモノヲ有シ、經驗ハ積ンデ數年以上ニ及ヘリ
今ニシテ倒レンカ、九仞ノ功ヲ一簣ニ欠クモノナリ、抑モ蚕室構造ノ
適否如何ハ、養蠶上至大ノ關係ヲ有スルコト勿論ナリト雖モ飼育理
法ノ如何ハ之ト相待チテ始メテ功ヲ奏スルモノナルベシ、予之ヲ究
メサルベカラス

ト、豁然トシテ悟ル所アリ、是ヨリ飼育ノ理法探究ニ黽勉セリ、時ニ文久
元年ナリ

是ヨリ君ハ或ハ古老先輩ノ門ヲ叩キテ談論諮詢シ、或ハ書物ニ徴シテ
飼育ノ原理ヲ探究シ、斯業ノ大成ヲ期セリ、曾テ所用アリ、全縣南甘樂郡
ヲ過キリテ稀有ノ良繭ヲ見タリ、君問フテ、全郡魚尾村ノ養蚕家岩崎竹
松ノ收繭ナルコトヲ知り、直ニ全家ヲ訪ヒテ面會ヲ乞ヒ、蠶兒飼育上ノ

全班ヲ談論諮詢セリ、爾來寒暑風雨屢々全家ヲ訪問シテ大ニ得ル所ア
リ、此他遠近ノ養蠶家ヲ訪ヒテ其說ヲ叩クコト大概此ノ如シ、君亦養蠶
書數十種ヲ熟讀含味シテ之ヲ實驗ニ照セリ、今其主ナルモノ一二ヲ舉
クレハ、馬場重久ノ養蠶手鑑、上垣守國ノ養蠶秘錄、佐藤友信ノ養蠶茶語
吉田友直ノ養蠶須知、吉田榮秀ノ養蠶示訓、天野政徳ノ養蠶圖解等ナリ
而シテ養蠶期節ニ臨ミテハ蠶兒ノ飼育ニ黽勉努力シテ、衣帶ヲ解カス
寢食ヲ安セズ、諸養蠶家ノ說、書物上ノ論、一トシテ實驗セサルハナシ、寸
隙アレハ奔リテ近傍ノ養蠶實況ヲ觀察スル等、其用心到レリ矣盡セリ
矣

君、偶々野蠶ノ桑樹ニ棲息スルヲ視タリ、彼、日中天氣晴朗ナルニ當リテ
ハ漸々樹上ニ現ハレテ活潑ニ桑葉ヲ食スルモ、其陰濕ナルニ際シテハ
追々樹下ニ潜ミ、東風ノ時ハ枝梢ノ西部ニ、西風ノ時ハ樹木ノ東部ニ移

リ其眠リニ就クヤ、樹木ノ下部即チ風雨トモニ安全ニシテ、周圍清潔ナル場所ニ於テ位置ヲ占ムル等、眠食蠕動自在ノ狀ヲ察知シ、恍然トシテ大ニ悟ル所アリ、謂ラク「造化ノ妙理此ニ在リ矣、多年ノ宿望ヲ貫徹スル夫レ必ス近キニアラン」ト、益々奮激精勵シテ工夫ヲ凝セリ、君カ初メテ飼育ノ原理探究ニ意ヲ留メタル文久元年ヨリ八年間、而シテ其前既ニ君カ失敗ニ失敗ヲ累テ刻苦經營セシ數年ヲ合シ、實ニ前後十有余年ノ星霜ヲ經過シテ、漸ク明治元年ニ至リ茲ニ完全ナル飼育法ヲ自得セリ名ケテ清溫育ト稱ス

其方法ハ、寒氣ニ遇ヘハ火力ヲ藉リ暑氣強ケレハ連接シタル育場ヲ擴開シ、乾燥ニ失スレハ少シク空氣ヲ密蔽ナラシメ、濕氣ニ過ルトキハ勉メテ空氣ノ流通ヲ計リ、室内ハ常ニ清ク且ツ溫カナラシメテ專ラ蠶意ニ適フヲ專一トス、而シテ餉桑ノ如キハ、腐敗蒸熱ノ憂ナカラシメナル

ヘク贅桑ヲ省キ、空氣ノ新陳代謝ヲ計リ、就眠ノ時ハ殘桑堆積ノ恐レアルヲ以テ、給與ノ桑葉ヲ一層細カニ刻ミ、カメテ蕪桑ナカラシメテ以テ蠶兒ノ健康ヲ保護スルニアリ、之ヲ要スルニ、冷溫ノ急變ヲ防キ寒濕ノ過不及ヲ調理シ、空氣ノ流通及ヒ桑葉ノ給與ヲ適宜ニスルニアリ、以上君カ完全ナル飼育法ヲ自得スルニ至リタル辛苦經營中、弟九藏ノ輔佐與ツテ大ニ力アリト云フ

第六章

養蠶事業ノ辛苦ニ伴ヒシ辛苦

君、宿望ヲ貫徹センカ爲メニ銳意熱心シテ、備サニ嘗メシ辛酸勞苦ハ、豈唯タ以上ノモノニ止ラジ、今其一二ヲ記サンカ、君夙ニ祖先ノ時代ニ比シテ衰頹セル家督ヲ承繼シ、加之君カ連年失敗ノ餘弊ハ財政上至大ノ影響ヲ及ホシ、年々得ル所ハ少クシテ出ツル所ハ多シ、顧ミレハ、君カ家

世々邑ノ豪族タルヲ以テ、交際諸計費ノ如キ尋常普通ノ人物ニ比シテ、更ニ幾十層倍ノ巨額ヲ要セリ、且ツ維新前後ノ事ナレハ日々夥多ノ傳馬ハ徵發セラレタリ、然リト雖、門閥上他人ト異ナル所アルヲ以テ、自身或ハ家族中ノ誰彼ヲ以テ其用ヲ辨セシムルコト能ハス、故ニ失費ノ多キモ人ヲ雇フテ義務ヲ果サ、ルヲ得ス、要スルニ大家ノ此ノ如キ境遇ニ處シテハ、時間上日々多少ノ餘裕アルモ、手ヲ賤業ニ下シテ勞働シ、賃金ヲ得テ以テ生活上ノ補佐トナスコト能ハス、又財囊中欠乏ヲ訴フルコトアルモ、地位相應ノ狀貌ヲ裝ヒ忍ンテ欠乏ヲ掩蔽スル等泣クニ泣カレヌ、辛酸勞苦ノアルモノナリ、其辛酸勞苦ハ、遂ニ君ヲ驅リテ家政上ニ一大改革ヲ行ハサルヲ得サラシメ、涙ヲ揮ツテ夥多ノ不動產ヲ賣却シ、大ニ家政ヲ切り詰メタル、コレ其第一ナリ

其當時ハ、生糸ノ販路狹隘ニシテ、今日ノ如海外ニ輸出シタルニアラサ

レハ、需用者ハ單ニ内國ノミニ止マレリ、内國ト雖、昨時ノ凶歉ニ際シテハ、藩士ヨリ夫々儉約法令ナルモノヲ布カレテ、絹布類ノ着用ヲ禁セラレタルコト屢々ナリシカ、ル有様ナルヲ以テ、養蠶事業ノ幼稚ニシテ範圍ノ甚タ狹隘ナリシハ固ヨリ其分ナリ、故ニ養蠶ハ概シテ婦女子ノ事業ナリトシ、男子ノ如キ之ヲ顧ミルモノトテハ甚タ稀ナリシナリ、此時ニ當リ君ハ豪族ノ家ニ生レ、堂々タル男子ノ身ヲ以テ此事業ニ熱中セシヨリ、諸人ノ陰然誹謗論難スルモノ多ク、特ニ當時具眼ノ士ト雖、先見ノ明ニ乏シク、話頭養蠶事業ニ涉ルトキハ、敬シテ君ヲ遠サケタルコト屢々ナリ、コレ其第二ナリ

從前行ハレ來リシ養蠶飼育ノ方法ハ、清涼育ト稱スルモノニシテ君カ辛苦經營シテ自得シタル清溫育トハ反對ノ方法ナリ、是ヲ以テ、其當時蠶業ニ志アルモノハ清溫育ヲ蛇蝎視シ、清溫育ハ養蠶事業ヲ衰頽セシ

ムルモノナリ、蠶兒ヲ斃死セシムルモノナリ、養蠶家ヲ失敗ニ終ラシムルモノナリナト、一大攻撃ヲ加ヘテ、君ヲ談論非難スルモノ甚タ多カリシ、君曾テ全縣北甘樂郡富田村佐藤某宅ノ稚蠶飼育室ヲ組ミ立テ、歸途全郡福島町ニ宿泊セリ、時ニ君カ隣室ニ客アリ兩三人、呶々談論シテ已マス、話頭漸ク一轉シテ富田村佐藤某宅ノ稚蠶飼育室ニ及ヘリ、君之ヲ傾聽スルニ、彼等ノ一人口ヲ開キテ曰ク、予今日富田村佐藤某宅ニ於テ、綠野郡高山村ノ養蠶家高山長五郎ナルモノカ、清温育ト云ヘル飼育ノ方法ニ基キテ組ミタテタル、稚蠶飼育室ナルモノヲ一見セリ、其方法ノ不適ナル必定カノ養蠶ヲシテ失敗セシムルモノナリ、畢竟スルニ長五郎ナルモノハ當今行ハル、清涼育ニ反對シテ、偏見ヲ懷ケル無知識漢ナルノミト談シ終リテ他人之ニ雷全附和セリ、熱心ナル君ハ之ヲ聽キ了ルヤ否ヤ、却テ彼等ノ偏見ヲ憐ミテ直ニ隣室ニ赴キ、會釋シテ已

レカ長五郎ナルコトヲ陳シ、徐ロニ向キノ談話ニ基キ一々論証ヲ舉ケテ之ヲ懇談セリ、頓テ彼等カ其理ニ伏スルヲ見テ

願クハ君等ニシテ、若シ、君等カ茲ニ談論セシカ如キ全一論鋒ヲ以テ談論スル人物ニ遭遇スルコトアラハ、幸ニ其感ヲ解キテ、後來蠶業上ノ實利公益ニ盡力アランコトヲ乞フ

ト、語辭懇到ナリ、他ノ反對論者ニ接スルモ大概斯ノ如シ、コレ其君ヲ苦シメタルノ第三ナリ

此他君ヲ苦メタルノ條件甚タ多クシテ、一々枚舉スルニ遑アララスト雖モ、尙ホ且ツ一事ノ記スヘキモノアリ、他ナシ、君カ自得シタル飼育ノ方法タル、他ノ飼育法ニ比シテ更ニ寒暖計ノ大ナル必要アリ、然レトモ、其當時ニ於テハ寒暖計ハ稀有ニシテ、之ヲ得ルコト容易ナラサルヲ以テ此欠乏ヨリ來セル君カ辛勞ハ、現今ノ養蠶家カ多ク想ヒ及ハサル所ナ

リ、例セハ、全一年輩ナルモ皮膚ノ強弱ニヨリテ、或ハ年齢ノ老幼ニヨリテ或ハ疾病不快等ニヨリテ全一ナラサル身体ノ感覺ニ依頼シテ寒暖ヲ計リ、無形ノ印象ヲ腦中ニ畫キテ數年ノ經驗ヲ積ミ、漸ク蠶兒ニ恰好ナル氣候ノ標準ヲ有形ニ表出セリ則チ蠶室ハ吾身裕ニテ寒カラサル様ニ氣候ヲ作ルヘシ或ハ蚕籠ノ一端ニ手ヲ觸レテ人肌ノ如クナルヲ以テ標準トスヘシト云フカ如シ、時計ノ欠乏モ亦君カ辛勞中ノ一ナリシト云フ、コレ其第四ナリ

第七章 辛苦ノ結果及ビ晩年

君、精神上ニ於テモ肉体上ニ於テモ、具サニ辛苦艱難ヲ嘗メ、路ニ横ハリタル蟠根錯節ヲ排シテ漸ク明治二年ニ至リ、自得シタル清温育ノ飼育法ヲ以テ養蠶ヲ實驗セリ、果セル哉、蠶兒ハ頗ル活潑ニシテ、發育ハ極メ

テ善良ナリ、簇ニ入りテハ更ニ斃死シタルモノナク、成繭ハ巨大ニシテ光澤ハ燦爛タリ、初ノ君カ飼育法ヲ辨難攻撃シタル頑固執拗ノ輩モ、今ヤ其結果ノ拔群ナルヲ觀、賞揚感難シテ措カス、是ヨリ有志家ノ君カ芳名ヲ傳聞シ、來リテ傳習ヲ乞フモノ陸續タリ、然レモ君未タ驟カニ其乞ヲ納レス、辭シテ曰ク

コレ唯タ一家ノ私法ノミ、吾豈ヨク人ノ師タルニ堪エンヤ、若シ或ハ之ヲ誤用センカ、其失タル復償フヘカラス

ト、唯タ之ヲ親戚知音ノ一兩家ニ傳習試験シテ、未曾有ノ好結果ヲ得タリ、カクテ君ノ名聲遠邇ニ聞エ、愈々衆望ノ屬スル所トナリ、傳習ヲ希望スルモノ踵相接シ懇請シテ止マス、君遂ニ其乞ヲ諾スルニ至レリ、爾來傳習ヲ乞フモノ比年増加シ、明治六年ニ至リテハ、既ニ一人一個ノ力ノ到底及フヘカラサルニ至レリ、乃チ門下ヲ叫合シテ高山組ヲ組織シ、君

之ガ組長トナリ組中ヨリ飼育ニ長セルモノヲ撰拔シテ授業員ニ、擧ケ巡回シテ教授ヲ掌ラシメ、君ハ之カ監督ニ任セリ、以降日ニ月ニ非常ノ速力ヲ以テ組員増加セリ、全十七年、官準ヲ得、高山組ヲ改正擴張シテ養蠶改良高山社ト稱シ、君カ宅ヲ以テ之ニ充テタリ、正副社長、監査員及ヒ授業員等ノ役員アリ、君ハ社員ノ推ス所トナリテ社長ニ仰カレタリ、全十九年ニ至リテハ、養蠶改良高山社及ヒ全傳習所ヲ地形上樞要ノ地ニ移轉スルノ一大急務ナルニ及ヘリ、乃チ地ヲ全縣綠野郡藤岡町ニトシ翌年ヲ以テ工ヲ起サント欲シ、經營略ホ成リ、更ニ事業上ノ一大進歩ヲ目撃スル將ニ近キニアラントスルニ際シ、不幸ニシテ二豎ノ犯ス所トナリ、壽命旦夕ニ迫レリ、君自ラ起ツ能ハサルヲ知ルヤ、嗣子武十郎、弟木村九藏(埼玉縣競進社々長ニシテ君ト其事業ヲ等ウシ、雷名夙ニ天下ニ鳴ル)及ヒ社員ヲ集メテ、副社長町田菊次郎ヲ後任トシ、遺言スルニ

互ニ私慾ヲ去リテ共同一致シ、倍々清温育ノ方法ヲ講シテ、汎ク蠶業上ノ改良ヲ遂ケ、國產ヲ増殖シテ社運ヲ高メ予ヲシテ地下ニ瞑目スルコトヲ得セシメヨ

ト、全年十二月十日終ニ逝ク、年五十又七、法名

高山院社叢隆長居士

其辭世ノ句ニ曰ク

桑の根に魂はとめて枯にたり

ト、以テ平常君カ精神ノアリシ所ヲ知ルニ足ランカ、當時社員ハ一道一府九縣ニ跨リ一千〇十七戸ノ多キニ及ヘリ

是ヨリ先、君年十八、全縣綠野郡三本木村浦部幸七ノ長女「コウ」ヲ聚リテ三女ヲ擧ク、長ヲ「フサ」ト云フ、明治十四年十一月、北甘樂郡岩崎村鈴木文助ノ次男武十郎ヲ養ヒ「フサ」ニ配シテ嗣子トス、武十郎夙ニ蠶業ニ篤志

ニシテ君ノ教授ヲ受ケ、頗ル事業ニ練熟セリ、今現ニ高山社副社長ノ椅子ヲ占ム

第八章 公共事業

明治三年君、蠶卵催青器、桑篩及ヒ輕便殺蛹器ヲ創造セリ、蠶卵催青器ハ蠶種ノ催青ヲ補助シ併セテ蠶種ノ貯藏器タルモノナリ、桑篩ハ、桑ヲ篩ヒテ過不及ナク蠶兒ニ與ウル趣向ノモノニシテ、蠶兒發育ノ順序ニ從ヒ篩目ニ大小廣狹ノ別アリテ、其製十有余アリ、輕便殺蛹器ハ、繭ノ蛹ヲ蒸殺スル器械ニシテ、舊法ノ炎天乾ニ一大改良ヲ與ヘタルモノナリ、又刻桑庖刀ノ製式區々ニ涉リテ使用ニ適セサルヲ患ヒ、數年ノ實驗ニ照シテ考案ヲ下シ、遂ニ新式ノ庖刀ヲ製レリ、名ケテ改良庖刀ト云フ、人其利便ニ浴ス

君カ居村ハ、北ニ全縣多胡郡日野村谷、西ニ全村ノ谷、南ニ全郡三波川村谷ノ三谷ヲ擁スルヲ以テ頗ル材木薪炭ノ産出ニ富メリ、然リト雖モ、村内道路狹隘崎嶇ニシテ、運輸ニ便ナラサルカ爲メ、看ス看ス材源ヲ壅塞シ、尠カラサル損害アルコトヲ憂ヒテ有志者ト議リ、私資及ヒ新道ノ線路ニ衝レル君カ所有地ヲ投シテ、遂ニ數百間ノ新路ヲ開拓セリ、爾來材木薪炭ヲ出スコト日ニ月ニ多キヲ加ヒテ、其恩澤ヲ蒙ルモノ甚タ多シ、コレ今ヲ距ル二十有余年ノ昔ニシテ、道路開拓事業ノ如キハ、人ノ注目ヲ牽カサリシ明治三年十月ノコトナリ

繭ハ種類全一ニアラサレハ製糸上品質ノ齊一ヲ缺キ、從テ需用者ノ意ヲ満足セシムルコト能サルヲ以テ、汎ク種類ノ撰擇ニ從事シタリ、此撰擇ノ方法タル至難ノ事業ニシテ、甲種ノ外見頗ル美ナルモ纖維微細ニ過キ乙種ノ品格甚タ豊ナルモ絲縷太キニ失シ、丙種ノ光澤大ニ愛スヘ

キモ解舒容易ナラサル等、孰レモ偏長偏短ニシテ、採擇上意ヲ満足セシムルモノ殆ント稀ナリ、君夙ニ「又昔」ノ改良ニ着手シ、順次年ヲ逐テ良好ノ結果ヲ現ハセリ、乃チ意ヲ決シテ之ヲ採用シ、君カ自得セル三撰法ヲ以テ飼育シ、數年ノ改良ヲ累テ漸ク完全ナル種類ニ達セリ、是ヨリ聲價頓ニ高ク、遂ニ高山社ノ原種トナレリ

是時ニ當リ、君カ製造ノ蠶種競フテ人ノ需ムル所トナリ、限リアルノ製造ハ、限リナキ需用者ヲ満足セシムルコト能ハサルニ至レリ、此際如何ニ君カ志操堅固ニシテ蠶種濫製ノ弊ヲ矯メ蠶業改良ニ勞シタルカ、ソハ君ト並ンテ蠶業界ノ霸王タル木村九藏君カ、客難ニ答ウルモノト全一轍ナリ、左ノ一節ヲ讀マハ、其一端ヲ窺フコトヲ得ヘシ

客アリ木村九藏君ニ説テ曰ク「先生ノ蠶種製造ニ於ケル勤メタリト云フヘシ、唯タ惜イカナ供給常ニ多カラス、爲ニ需用者ヲ満足セシムルコ

ト能ハス豈顧ミサルヘケンヤ、先生ノ技倆ニシテ門下熟練者ノ多キ、何ソ之カ増製ヲナシ能ハサルコトアラシヤ、請ラクハ、自今以後多數ノ製造ヲナシ、一ハ以テ需用者ノ渴望ヲ充タシ、他ハ以テ囊中ニ所得ヲ増サハ自他ノ便益ニシテ一舉兩得ニアラスヤ」ト、九藏君從容客ニ言テ曰ク「子カ言然リ、然リト雖モ、凡ソ蠶種ニ濫製ヲ免カレサル所以ノモノハ、製造家カ蠶業改良ノ志操ナク、單ニ利ヲ先ニシテ義ヲ忘ル、ニ職由セサルナシ、子カ兄高山長五郎、往キ、ニ子ヲ誠テ曰ク、蠶種ノ精製實ニ方今ノ急務ナリ、宜シク其製造ヲ少數ニ止メテ、以テ鄭重事ヲ了スルノ餘地ヲ存スヘシ、ト子常ニ之ヲ服膺ス、子以テ如何トナス」ト以テ君カ熱心誠意ノアリシ所ヲ知ルコトヲ得ン

三撰法トハ、蠶ニ於テモ繭ニ於テモ蛾ニ於テモ、各其善良完美ナルモノヲ撰拔スル法ヲ云フ、其法、蠶兒ニ在リテハ、成長順序全一ニシテ形狀光

澤均一ナルモノヲ繭ニアリテハ、形狀緊緩纖維等ノ整齊セルモノヲ、蚕蛾ニ在リテハ色澤美麗ニ形狀整ヒ性質活潑ナルモノヲ撰拔シ、閑靜ナル場所ヲ撰ンテ華氏驗溫器ノ七十五度ヲ中心トシ、午前八時ヨリ午後三時マテヲ交尾ノ時間ニ充テ、全三時半ヨリ八時マテヲ産卵ノ時ニ供ス八時ニ到リテ産卵未タ完ク終ラサルモノアルモ、全時ニ之ヲ除キ去リ爾后數十日ノ間之ヲ清淨ノ室ニ貯ヘ置キ、顯微鏡ヲ以テ微粒子毒ヲ驗査シ、有毒ノモノアレハ之ヲ廢棄ス、此方法ヲ名ケテ三撰法ト云フ組合ヲ設ケテ農事ヲ勉勵耕作シ、利害得失ヲ研究シテ互ニ知識ヲ得、無用ノ失費ヲ卻ケテ土風民俗ヲ矯正シ務メテ勤儉ヲ行ヒ、貯蓄ニ進ムヲ以テ趣旨トシ農業組合ヲ立テ、隣保ヲ團結セリ、コレ明治十年ノコトナリシ

全十二年ヨリ十五年ニ跨リ、蠶業獎勵ノ爲メ、門下組員ノ收獲シタル繭

ヲ集メテ、繭品評會ヲ開設セルコト五回ニ及ヘリ、第一回ヲ自宅ニ、第二回ヲ多胡郡吉井町ニ、第三回ヲ綠野郡鬼石町ニ、第四回ヲ全郡本郷村ニ、第五回ヲ埼玉縣兒玉郡沼上村ニ於テ開會セリ、毎會飼育上ノ利害損失ヲ指摘シテ優劣ヲ品評シ、私資ヲ投シテ優等ノモノヲ賞セリ、殊ニ、其第三及ヒ第五兩回ノ如キハ、木村九藏君ノ創立セル、競進組々員ト聯合シテ開會セリ

從前行ハレ來リタル粗製濫造ノ生絲ヲ改良シ糸質ヲ齊一ニシテ需用者ノ嗜好ニ投シ、益々販路ヲ擴張センコトヲ希望シテ有志家ト料リ、全十四年七月、君カ居村字竹之本ニ坐操製糸揚場ヲ設立シ、製糸高山組ト稱セリ、コレ米國、直輸出製糸改良高山組ノ濫觴ナリ

君、明治二年一月ヨリ高山村ノ戸長ニ推撰セラレテ最モ名望アリ、全十一年郡制施行ニ際シ、改メテ高山村外二ヶ村ノ戸長ニ公撰セラレ、服務

スルコト前後十有余年、遂ニ蠶業上ノ劇忙ハ君ヲ驅リテ職ヲ辭セシムルニ至レリ、時ニ明治十又五年ナリ

第九章 開墾ノ先鞭

今ヲ距ル凡ソ三十年ノ其昔、君、居村ノ山地ヲ相ルニ地味大ニ桑樹ニ適シ、少許ノ肥料ヲ以テ收穫ノ大ナルコトヲ悟レリ、乃チ地ヲ全村字日尻平ニトシ、七反有余歩ノ山地開墾ニ着手セリ、此地ハ君カ居宅ヲ距ル十有五丁ノ山間ニアル鬱叢タル篠原ニシテ、野獸之ニ潜ムトキハ弓矢モ其用ヲナサス銃丸モ其功ヲ奏セズト、人々ノ言ヒ囁セシ所ナリ、君此土ヲ開墾シテ、四尺隔テニ畦ヲ立テ九尺毎ニ桑樹ヲ植エ付ケタリ、今全村中所々ニ善良ナル山地桑園ノ多キハ、蓋シ模範ヲ君ニ探ルモノナリ、君此時代ニアリテ、既ニ充分ナル距離ヲ隔テ、桑樹ヲ植エ付ケタルコト

此ノ如シ、卓拔ノ見識驚クヘシ

第十章 友愛ノ至情

君、木村九藏君ト議リ、明治十四年八月高山、競進兩組聯合繭品評會ヲ綠野郡鬼石町ニ開ク、時ニ君ト九藏君ト、各自團結ノ組員ヲ率ヰテ會場ニ集マリ、兄弟對座シテ、偕ニ品評ノ事務ヲ完了セリ、九藏君、仲兄彌太郎ノ遺子豊太郎ヲ呼ンテ坐ニ就カシメ、叩頭君ニ謝シテ曰ク「恩兄往キニ不肖九藏ヲシテ養蠶改良ノ途ニ勤勉セシム、訓示ノ存スル所鞠究勉勵斃レテ止ムヲ誓ヒ、爾來恩兄ノ事業ニ倣ヒテ、今幸ニ寸效ヲ膝下ニ復ス冀クハ恩兄之ヲ領セヨ」ト、君謙退則チ語テ曰ク

曾テ是ヲ訓示セシ予カ如キハ得易ク、是ヲ實行セシ阿弟ノ如キハ眞ニ得難シ、胸蓋ヲ發キテ最モ斯業ノ爲ニ祝スヘシ、海山ノ恩アル先人

寅三ヲシテ尙今日ニ在ラシメハ、吾等兄弟ノ怡顔ニ對スル其歡喜如何ソヤ、且ツ此座彌太郎ヲ缺ク遺憾何ソ極マラン、然レモ阿弟能ク豊太郎ヲ誘掖輔導シテ、彼カ技術力量多ク他ニ讓ラス、以テ彌太郎ヲ地下ニ慰安スルコトヲ得ヘシ、回顧スレハ、往年吾等彌太郎ト先人ノ膝下ニ語リテ各自蠶業上大ニ爲スヘキコトヲ期セリ、今ヤ阿弟ト予ト微シク志ヲ致シ、獨リ彌太郎ノ熱血ノミ空シク之ヲ瞑界ニ葬ル、懷舊ノ情感慨ニ堪エス

ト、言畢リテ熱淚雨下ス、九藏君豊太郎氏ト悲哀益々加ハリ、舉座感動セリ

第十一章 慈善的行爲

君カ養蠶ノ大家ニシテ又慈善家ナリシコトハ、人ノ知ル所ナリ、明治十

八年ハ西南戰爭ノ餘弊ヲ承ケ、全國到ル所トシテ大概生計上難息ノ聲ヲ耳ニセサルハナシ、例セハ菓餅ヲ搗キテ之ヲ食ヒ露命ヲ繋キシト云フモノアリ、或ハ木ノ芽ヲ摘ミ淪テ食料ニ供シ辛フシテ饑ヲ忍ヘリト云フモノアリ、甚タシキニ至リテハ、困危ノ人民激動シテ、鳴スニ竹螺ヲ以テシ、動カスニ席旗ヲ以テセリト云フカ如ク、世上大ニ殺氣ヲ帶ヒ頗ル悲惨ノ狀況ヲ呈シタリ、君痛ク之ヲ憂ヒテ究乏者ニ全情ヲ表シ、家人ニ議リテ村内字天谷ノ山林五町有余歩ヲ五十金ノ廉價ニテ而モ延ヘ金ヲ以テ生活不如意ナル村人輩ニ賣與セリ、茲ニ彼等ハ其堵ニ安ンシ日々材木ヲ伐リ薪炭ヲ製リテ之ヲ販賣シ、各自資ヲ得テ糊口ノ用ニ供スルコトヲ得タリ、故ニ此悲惨ナル凶年モ、君カ居村ノ如キハ平穩ニ送ルコトヲ得タリト云フ

第十二章 賞典

君カ成功シタル事業ノ偉大ナルニ比ノ、其恩典ノ頗ル輕少ナルヲ感ス
蓋シ君質素淳樸ニシテ、功名榮譽ノ他ニ知ラレンコトヲ願ハサレハナ
リ、恩典ノ少キ寧ロ尊ムヘシ、今君カ存生中ニ得タル褒賞ヲ舉クレハ左
ノ如シ

明治十二年十月上毛繭共進會ニ繭一種ヲ出品シ三等賞トシテ銀盃一
個ヲ受領シ、全十五年十月群馬縣主催繭外四品共進會ニ收繭ヲ出品シ
五等賞トシテ木盃ヲ受領シ、全十六年埼玉縣兒玉郡沼上村私立繭共進
會ニ繭一種ヲ出品シ一等賞トシテ三ツ組木盃ヲ受領セリ、コレ君カ存
生中ニ得タル最後ノ褒賞ナリ

第十三章 君逝テ芳名愈々高シ

君質素淳樸ニシテ、功名榮譽ノ他ニ知ラレンコトヲ願ハスト雖、嗚々

タル名聲ハ豈久シク地平線下ニ埋没スルモノナランヤ、君逝テ芳名愈
々高シ、翌年、農商務大臣黒田伯爵ヨリ追賞ヲ授與セラル、即チ左ノ如シ

追賞授與證

群馬縣上野國綠野郡高山村

高山武十郎養父

故 高山長五郎

金拾五圓

夙ニ意ヲ養蠶改良ニ傾ケ困苦多年遂ニ一種ノ養法ヲ自得シ、之ヲ
衆ニ傳ヘ又私費ヲ投シ繭品評會ヲ開キ後進ヲ誘導シ、尙一社ヲ設
ケテ該業ノ改良及擴張ヲ謀レリ、現時其澤ヲ蒙ルモノ無慮數千
人ノ多キニ及フ、其功大ナリ、因テ之ヲ追賞ス

右審査官ノ薦告ニ據リ八王子ニ於テ之ヲ授與ス

明治二十年十一月十七日

農商務大臣從二位勳一等伯爵黒田清隆 印

君逝テ芳名愈々高シ

(三十三)

是ヨリ君カ功德ヲ追慕シ、芳名ヲ贊美スルモノ益々加ハリ、竟ニ一碑ヲ建設シテ功德ヲ不朽ニ傳ヘントスルニ至レリ、明治二十四年一月社長町田菊次郎社員ト議リテ、總會ヲ開キ、君カ功德碑建設ノ件、社員ノ收穫セシ繭共進會開設ノ件及ヒ之ニ要スル事務委員若干名ヲ置クコトヲ議決セリ、全年三月長一丈二尺、巾五尺余、厚サ八寸ノ一大碑石、宮城縣稻井村産菊名石ヲ購求セリ、乃チ大日本農會々頭北白川宮殿下篆額ヲ忝ウシテ、高山長五郎功德碑ノ八字ヲ賜ハリ、碑文ハ文學博士重野安釋君ノ撰、揮毫ハ貴族院議員金井之恭君ノ筆ニ成リ、廣群鶴ニ託シテ之ヲ刻セシム、文字ハ方三寸楷書ニシテ九百七十有余字アリ、臺石ハ道程二里余ヲ隔テタル高山村ノ山麓ヨリ採掘シ、三十二日、三千有余人ノ日數人夫ヲ要シテ、此ヲ建設地ニ致セリ、漸ク九月下旬ヲ以テ竣工ヲ諗ク、乃チ十月一日之カ建碑式ヲ舉行セリ、建設敷地ハ藤岡町有志者ノ寄附ニ係

リ全町ノ異位諏訪神社ノ境内ニ北隣シテ、面積八反有余步、周ラスニ柵ヲ以テシ、池アリ芝生アリ奇木芳草參差トシテ其間ニ樹立シ、宛然公園ノ美觀ヲ存ス、中央ニ小丘ヲ築キテ茲ニ碑石ヲ安置シ、圍ムニ鉄柵ヲ以テセリ、コレ永ク君カ功德ノ天下ニ聳立スル所ナリ

此間、高山社構内ニ於テハ、繭共進會々場ニ要スル繭陳列所及ヒ參考館ノ新築完了シ、全日ヲ以テ開會式ヲ舉ケタリ

來賓トシテ此盛典ニ列セシハ、縣知事、縣屬官、郡長、郡吏、警察署長、貴衆兩議院議員、町村長、實業家、農商務省技手及社員等無慮數千人ニシテ、式場ハ莊嚴盛裝ヲ極メ、陸軍樂隊ノ奏樂ハ響キテ更ニ一層ノ壯觀ヲ添エ、君カ功德、高山社ノ萬歲、共進會ノ盛會ヲ贊美シテ式ヲ了レリ

此日毎戸カ掲ケテ祝意ヲ表章シタル旭旗ハ市街ヲ飾リ、君カ功德ヲ追慕賞賛スル來觀者ハ往來シテ織ルカ如ク町内ハ人ヲ以テ充滿シ喧囂

熱鬧ヲ極メタリ、又競フテ十有余ノ諸町村ヨリ寄贈シタル煙火ハ絶ヘ
ス式場附近ノ所々ニ於テ之ヲ打チ揚ケ、爆聲ハ響キテ耳ヲ聾シ、中天ハ
星流レ龍躍リ光彩燦爛トシテ空ヲ掩ヒ、拍手喝采ノ聲ハ鳴リ渡リテ市
街ヲ震撼セリ、蓋シ藤岡町未曾有ノ盛況ナリ

此月十五日繭共進會褒賞授與式ヲ舉ケ、全十九日開場式ヲ執行ス、其盛
況大概前ノ如シ、繭共進會開會中參觀者合計八萬有余人、出品一千一百
〇六点ニシテ受賞者二百九十六名アリ、其賞一等ヨリ三等マテチ銀盃
トシ三等ヨリ六等マテチ木盃トセリ、功德碑建設、繭共進會ノ兩費及ヒ
來賓饗應費等以上ニ要セシ夥多ノ金額ハ君カ功德ヲ追慕シ高山社ノ
隆盛ヲ熱望スル社員及ヒ有志者寄附金ヲ以テ支辨シ、綽々トシテ餘裕
アリシト云フ其功德碑文ハ左ノ如シ

高山長五郎功德碑

大日本農會頭陸軍少將兼議定官大勳位能久親王篆額

高山重禮既沒之數年、其徒町田菊次郎等來謁予、以不朽之文、
且謂曰、重禮留心於農桑大欲興蠶業以養富源、躬自執其勞、日
夜匪懈而屢蹉跌、不如意、竟至於祈請神佛、一日視野蠶棲息桑
上眠食蠕動自在之狀、恍然有悟、謂造化之妙理在乎此、後數年
遂創一種養法、名曰清溫育、蠶室之構造寒溫之程度、與飼育之
原理相須以適宜、試之數回、蠶兒叢生得繭尤夥、鉅大而澤美、
蓋自始改業至是八換裴葛矣、其間諮詢故老參之實蹟、焦心苦慮
莫所不到、乃至蠶卵催青器殺蛹器篩子刀子之要式及蠶種撰擇
桑樹栽培之法、一一改良皆出新案、秩然具備於是、四隣喧傳來
求其術者踵相接、而重禮未輒應曰、此唯一家私法、吾豈堪爲人師
哉、若或誤用之、其失不可復償、衆懇請弗已、遂傳之一二親故
功效立見、其名益噪遠邇、前後及門者且八百人、乃創建一社号
養蠶改良高山社、衆推以爲社長、派出社員四方教授其法、特設
蠶室於庭內示其模範、又開品評會判繭優劣、屢投私財賞優等者
將大擴張其業也、既卜地於藤岡町、欲以明年起工、經營略成、

不幸罹病而逝、實明治十九年十二月十日、年五十有七、疾病自知不起、會社員以菊次郎繼後任、遺言、俾廣社業殖國產、明年官下命、追賞曰、故重禮夙用心於蠶事、困苦積年、遂自得一種養法、傳之衆庶、又投私資誘導後進、尙設一社謀事業擴張、現蒙其澤者無慮數千人、其功大矣、因賜以金幣若干、嗚呼重禮可以傳也、重禮上野綠野郡高山村人、通稱長五郎、姓平氏、其先出自高山遠江守滿重、滿重當永祿間、從管領上杉憲政居高山城、其子右馬助重正初隸武田氏、後屬小田原北條氏、北條氏亡遂居高山村、至重禮凡十五世爲邑豪族、父名寅三、好讀書、重禮承家襲其職里正、後爲戶長尤負名望、有弟曰木村九藏、重禮之成蠶業、九藏與有力焉、重禮聚同郡浦部氏生三女、長曰房、養甘樂郡鈴木氏之子武十郎、以房女配之嗣家、武十郎亦篤志于蠶事云、高山地僻在山間、道路崎嶇不便運輸、重禮謂、此非殖產之道、自投私財拓開新路、長五百三十九間、衆因贊其舉助資以竣工、重禮爲人淳良剛直而勤儉、奉身不好靈飾、與全志謀設農業組合者、立規約隣保相助、勉勵農事、講究其利害得失、且

令省浮費務貯蓄、質實敦厚以矯正時俗之弊、里民謳歌靡然嚮化、訖今其徒數千人、鑽仰景慕而弗能謏、然則重禮之可傳不特蠶事之偉功也、乃題曰功德之碑、而系之詞曰

毛之野兮何其沃、有山崎兮蔚蒼蒼、毛之士兮何其闢、有水流兮渺泱泱、秀氣鐘兮流且峙、伊人逝兮我心悲、傷、噫伊人逝兮其澤不亡

明治二十四年辛卯七月

貴族院議員從四位勳四等文學博士重野安繹撰
貴族院議員從四位勳三等 金井之恭書

超エテ、明治二十五年三月二十五日內閣賞勳局ヨリ追賞トシテ、左ノ御沙汰アリタリ

群馬縣上野國綠野郡美九里村大字高山村

高山武十郎

亡長五郎夙ニ意ヲ農桑ニ注キ力ヲ蠶兒ノ飼育ニ竭シ、刻苦積年

君逝テ芳名愈々高シ

遂ニ一種ノ養法ヲ創メ名ケテ清温育ト云フ、又蠶卵催青器、殺蛹器、桑篩、桑庖刀ノ製式及蠶種撰擇、桑樹栽培ノ諸法ヲ改良シ現ニ其益ヲ受クル者無慮五千有余人ノ多キニ至レリ、養蠶改良高山社ヲ創メ推サレテ其社長トナリ、繭ノ品種ヲ精撰シ以テ米國直輸出ノ道ヲ啓キ、尙品評會ヲ開キテ繭ノ優劣ヲ判ジ屢々私資ヲ投ジテ優等者ヲ賞シ、又曾テ新路ヲ修築シ、又農業組合ヲ起シテ工事ヲ勸誘シ、貯蓄ヲ獎勵スル等洵ニ衆人ノ模範タリトス、仍テ爲追賞金五拾圓下賜候事

明治二十五年三月二十五日

賞勳局總裁正三位勳二等候爵西園寺公望

賞勳局副總裁從三位勳一等子爵大給恒

全年五月小松宮殿下親シク高山社ノ養蠶事業ニ御閱覽ヲ賜ヒ、夫ヨリ君カ功德碑建設地へ成ラセラレ碑面ニ對シテ優渥ナル令詞ヲ忝ウシ君カ事業ヲ御感賞遊バサレ「體信」ナル二字ノ御親筆ヲ高山社ニ給ハル嗚呼、君逝テ芳名愈々高ク、君ヲ謳歌スルモノ益々加ハル

以上君ガ生涯ノ一端ヲ序述シ終レリ、此ヨリ以下、君ガ事業ヲ承繼シテヨク高山社ヲ愛育保護シ、其榮光ヲシテ益々高カラシメタル、現任正副社長ノ小傳ヲ述ベテ高山社ノ來歴ヲ表白シ、以テ此編ヲ終ルヘシ

第十四章 町田菊次郎

君ハ養蠶改良高山社ノ社長ニシテ群馬縣綠野郡本郷村(現今ノ美九里村大字本郷村)ノ人ナリ、君嘉永三年十一月二十三日ヲ以テ生レ、家世々

農桑ヲ業トス、君幼ヨリ頗ル蠶桑ノ業ヲ好ミ、夙ニ飼育ノ要領ヲ研究シテ其得ル所尠ナカラス、然レドモ未ダ以テ足レリトセス、明治八年全郡高山村高山長五郎ノ門ニ入ル、是ヨリ先君堤防修繕ノ爲ノ夥多ノ人夫ヲ具シ、全郡矢場村ニ出張シテ之ガ工事監督ニ從事セリ、偶々高山組々長高山長五郎來リテ全村吉田半十郎方ニ於テ、連日清温飼育方法ノ講談ヲナセリ、君休憩時間ヲ以テ之ニ趣キ耳ヲ傾クルヲ數日、大ニ得ル所アリ、是ヨリ君贊ヲ執リ、誓テ高山長五郎ヲ師トシ仰ケリ、全九年君撰マレテ蠶兒飼育法ノ授業員トナリ、全十二年ニ至ルマデ四ヶ年間、各地養蠶家ノ需メニ應シ、巡回シテ飼育法ヲ教授セリ

全十二年綠野郡藤岡町外七ヶ村ノ有志者ト俱ニ、全縣南甘樂郡神流川綠野郡三波川及ビ三名川ノ水流ヲ引キ、陸田ヲ變ジテ水田トナシ、加旃夥多ノ水車機械ヲ裝置シテ以テ物産ヲ興起センコトヲ圖レリ、元來以

上ノ數町村ハ水利極メテ乏シク、就中、藤岡町ノ如キハ當時一千有余戸ヲ有スル小繁華ノ地ナルニモ拘ハラズ、單ニ井水ノミヲ用キテ飲料其他諸般ノ用ニ供スルヨリ旱魃ニ際會スル毎ニ其困難云フベカラズ、斯ノ如キ地位ナルヲ以テ全町ノ如キ主トシテ贊同ヲ表シ來レリ、君先起チテ私資ヲ抛チ水道開鑿測量ニ着手シ、計畫畧ホ成リ將ニ其許可ヲ乞ハントスルニ及ベリ、而シテ茲ニ一ノ障害ヲ生ゼリ、個ハ他ナシ埼玉縣兒玉、賀美兩郡内四十二ヶ村ニ在テハ從來神流川ノ水流ヲ堰入シ以テ灌漑ノ便ニ供セリ、然ルニ此等計畫ノ希望ヲ達スルトキハ爲メニ水量減少シテ非常ノ變動ヲ起シ、人民其堵ニ安ンズルコト能ハズト云フニ至レルコト是ナリ、爾后、屢々協議ヲ盡シテ長野縣南佐久郡ヨリ筑摩川ヲ導キテ分流セシメ、神流川ノ源泉ヲ増加セバ彼此其慶前ノ計畫ニ倍スベシト、事茲ニ一決セリ、然ルニ退キテ熟考スルニ

莫大ノ費用ヲ抛チ幸ニシテ目的ヲ達スルモ、或ハ收支相償ハザルヲ保シ難ク且ツヤ、從來筑摩川ノ澤ヲ蒙ムリシモノニ其影響ヲ及ボスヤモ斗リ難シ、若カス身ヲ舉ゲテ蠶業ニ委シ、四圍皆此不完全ナル飼育法ヲ改良セバ其國家ヲ利益スルヤ水利ノ比ニアラサルベシ而シテ養蠶事業ノ將來ヲ考フルニ、水田ヲ變ジテ桑園トナスノ時運ニ到達スルモ亦未ダ知ルベカラズ

ト是ヨリ斷然身ヲ投ジテ蠶業ニ從事シ復水利ノ事ヲ言ハズ
全十三年撰マレテ高山組ノ監督員トナリ、門下養蚕家ノ飼育法及ビ授業員ノ勤惰等ヲ監査セリ、全十五年自宅ニ於テ第四回繭品評會ヲ開設セリ是ヨリ先、君組長ヲ輔ケテ組員ト議リ繭品評會ヲ開クコト三回ニ及ベリ、其第五回ハ埼玉縣兒玉郡沼上村ニ於テ開會セリ此年全縣山田郡桐生町ニ開會セル七縣聯合共進會ニ收繭ヲ出品シテ六等賞ヲ賜ハ

レリ全十六年君組長ヲ輔佐シテ埼玉縣競進組ト聯合シ兒玉郡沼上村ニ於テ私立繭共進會ヲ開設シ、君其審査員トナリ且ツ其出品繭ニ對シテ埼玉縣令ヨリ二等賞ヲ下賜セラレタリ、全十七年三月君組長ヲ輔ケテ組員ト議リ官準ヲ得高山組ヲ改正シテ養蚕改良高山社ヲ創立セリ全十八年君推撰サレテ其副社長トナレリ、君謂ラク「汎ク各地ノ養蚕家ニ就キ、彼是ノ長所ヲ交換セバ其益スル所甚ダ多カルベシ」ト、是ヨリ遠邇ヲ問ハズ有名ナル養蠶家ヲ訪ヒテ談論討究スル所アリ、就中、練木喜三、松永伍作ノ兩氏ニ付キ蚕病ノ原因及ビ之ガ豫防撲滅等ノ方法ヲ質シ、佐々木長淳氏ニ就キ蠶蛾、蠶卵等ノ検査方法ヲ研磨セリ、當時人アリ君ニ問フニ蠶業上ノ奥義ヲ簡短ナル言語ヲ以テ表出セラレンコトヲ望メリ、君則チ告テ曰ク

心して蠶下は乾け乾かぬなしつとり青く上らしむべし

ト、聽ク人大ニ敬服セリト云フ

全十九年上毛繭糸改良會社々々長星野長太郎ト協議シ、北海道ニ於ケル蠶糸業ノ改良ヲ企テ、札幌地方ニ遊ビ、風土氣候等ヲ視察シテ歸郷シ十一月再ビ全地ニ渡航セシガ、社長高山長五郎ニ暨ノ犯ス所トナリテ其容体頗ル危険ナルヲ聞キ、奔テ郷ニ歸リ病床ニ待ス、月ヲ超エテ病大ニ革マリ終ニ永眠ス、其前數日社員ヲ會シテ後事ヲ議ス、君ハ推サレテ社長ノ任ヲ繼ケリ、此年群馬縣蠶糸業組合ノ創立委員及ビ全組合綠野多胡兩郡事務所取締役ニ舉ゲラル

全二十年故社長ノ遺志ヲ奉ジ社員一同ノ贊助ヲ得テ、地ヲ藤岡町字中原小路ニトシ、養蠶改良高山社及ビ全傳習所ヲ建築セリ、其構内ハ三反有余歩ノ廣キニ互リ、周ラスニ小堤ヲ以テシテ、更ニ其上ニ四ツ目塙ヲ築ケリ、門ヲ入レバ種々ノ禾卉樹木アリ參差トシテ庭中ニ樹立シ、殊ニ

一株ノ巨大ナル老桑樹アリ、蓋シ天然ノ驗氣候器ナカランカ、事務所傳習所、參考館及ビ倉庫等四棟ノ家屋南面シテ此間ニ聳立シ、宛然藤岡町ノ一美觀タリ、此年更ニ又北海道ニ航シ、札幌及ビ渡島國檜山郡蛾虫村ノ兩養蠶所ヲ巡視シ、授業員ヲ派遣シテ飼育法ヲ傳習セシム、是ヨリ先天然ノ氣候ニ從ヒ敢テ火力ヲ用ヒザル所ノ飼育法、所謂天然育盛ニ行ハレ、爲ニ清溫飼育法ヲ誹謗スルモノ多ク、改良ノ障礙ヲナスコト尠シトセズ、因テ是等ノ妄說ヲ排除シ益々斯業ニ改良ヲ加ヘンガ爲メ、君私資ヲ投ジテ或ハ東奔、西走シ、或ハ南船北馬シテ演說講談ヲナスコト前後數百回ニシテ、大ニ改良ノ養法ヲ擴張セリ、全年神奈川縣主催一府九縣聯合共進會出品繭ニ對シ、高山社ハ三等賞君ハ四等賞ヲ下賜セラル殊ニ全會ニ於テハ故社長高山長五郎生前ノ功勞ヲ追賞セラレ、農商務大臣ヨリ金拾五圓ヲ賜ハレリ、是ニ於テ君ハ恩賜ノ優渥ナルニ感激シ

益々事業ヲ擴張シテ蠶業ノ改良ヲ謀リ、以テ萬分ノ一ニ報ゼント、拮据
黽勉數年一日ノ如ク、内ニ在テハ各府縣ノ傳習生徒ヲ涵養シ、外ニ在テ
ハ廣ク同業者ヲ誘導シ、以テ飼育法ヲ改良セシメタリ、此年君有志家ト
料リ故社長ノ創立セシ製糸高山組ヲ擴張シ、合同販賣ノ方法ヲ設ケテ
精良品ヲ製出シ、專ラ聲價ノ回復ヲ謀リテ頗ル盡力セリ、元來綠野多胡
兩郡ノ如キハ良好ノ生糸ヲ産スルノ土地ナリト雖モ、數年以來粗製濫
造ノ弊ニ陥リ聲價地ニ墜チテ如何トモスルヲ能ハズ、而シテ其上等生
繭ノ過半ハ隣縣製糸家ノ購求シ去ル所トナルニ至レリ、君大ニ之ヲ慨
難シ、上毛繭糸改良會社々長星野長太郎其他有志家ト謀リ、遂ニ米國直
輸販賣ノ路ヲ開キ、爾來益々盛運ニ向ヘリ、全二十一年群馬縣ヨリ積年
養蠶ニ從事勉勵シ飼育法ヲ研究シ改良ヲ圖リ其功勞尠カラザル趣ヲ
以テ金壹圓ヲ賞與セララル、全二十二年佛國巴里府ニ開會セル萬國博覽

會へ赤熟繭ヲ出品シテ銅賞牌ヲ贈與セララル、全二十三年君大日本農會
農藝委員ニ舉ゲラレ四月第三回内國勸業博覽會審査官ヲ命ゼラル君
ガ全會ニ出品シタル又昔赤熟ノ繭二種及ビ蠶種又昔ハ有功一等賞、高
山社ヨリ出品シタル、繭及ビ蠶種ハ進步一等賞ヲ全會ヨリ下賜セラル
就中高山社提出ノ「養蚕改良方案」ニ對シテハ方案亦見ルニ足ルトノ賞
賛ヲ忝ウス

全年九月格別ノ勉勵ニ付、銀盃及ビ金百圓ヲ下賜セララル
全二十四年社員總會ヲ開キ、故社長高山長五郎功德碑建設ノ件及ビ繭
共進會開設ノ件ヲ議定シ、爾來東奔西走大ニ力ヲ盡シ、其年十月一日ヲ
以テ盛大華美ナル建碑式及ビ繭共進會開會式ヲ舉行シ、其十五日ヲ以
テ共進會褒賞授與式、其十九日ヲ以テ閉場式ヲ執行セリ、蓋シ藤岡町未
曾有ノ盛況ナリ

全二十五年三月内閣賞勳局ヨリ、故社長追賞トシテ金五拾圓ヲ賜ハル君感激シテ其榮譽ヲ擔ヘリ

全年五月小松宮親王殿下親シク高山社ニ臨マレ、蠶兒飼育ノ狀況ヲ御覽遊バサレ「體信」ナル二字ノ御染筆ヲ賜ハル

此年九月君、實業ニ精勵シ衆人ノ模範タルベキ趣ヲ以テ綠綬章ヲ下賜セラル、以上故社長ノ追賞ト云ヒ、小松宮親王殿下ノ恩賜ト云ヒ、君ガ賜ハリシ綠綬章ト云ヒ、皆是高山社ニ榮光ヲ添ユルモノナルヲ以テ、此年十一月社員舉リテ社内ニ祝賀ノ盛筵ヲ張リ、君ハ主賓トシテ招待セラレ大ニ祝意ヲ寄セラレタリ

左ニ載スルモノハ高山社事務所ニ揭示スル所ノモノナリ、未ダ直接ニ其恩典ニ接セズト雖モ、此亦一大名譽ナラズヤ

掲示

當社世界博覽會出品ノ繭、審査上優等ニ付褒賞授與可相成旨、臨時博覽會事務局ヨリ公示セラレ候赴、閣龍博覽會中央協會ヨリ通知相成候、依テ社員一同ニ報告ス

明治二十七年四月十五日

高山社事務所

上來、君ガ斯業改良ニ盡力シタル結果ニヨリテ現出セル景况ヲ掲グレバ、既ニ傳習所ニ於テ養成セル生徒ハ數百人ノ多キニ上リ、華族板垣銻太郎、松平銀次郎ノ如キモ亦此内ニアリ社員八千有余戸ニシテ、一道三府四十二縣ニ跨リ、授業員ノ年々招聘セラル、モノ、東北ハ北海道ノ端ヨリ西南ハ西海道ノ隅ニ及ベリ、其報告シ來リシ社員ノ收繭枴量ハ二万八千石ニシテ時價九拾八万余圓ナリ、今其三分ノ一ヲ以テ飼育改良

ノ結果トスルモ尙ホ三拾二万圓ノ増殖アルヲ見ル(明治廿六年ノ調査ニ據ル)國益ニ關係スル豈尠少ナリトセンヤ、君夙ニ故高山長五郎ノ遺法ヲ傳へ、四圍皆天然育ノ中ニ立チ巍然トシテ清温育ヲ主唱シ、遂ニ其飼育法ヲ擴張スルコト此ノ如シ、嗚呼、君ガ雷名ハ千古ヲ照シテ、長ク蠶業史上ニ輝カン

第十五章 高山武十郎

君ハ養蠶改良高山社ノ副社長ニシテ、萬延元年八月十一日ヲ以テ群馬縣北甘樂郡岩崎村(現今ノ岩平村大字岩崎村)ニ生ル、父ヲ鈴木文助ト云ヒ君ハ其次男ナリ、幼ニシテ養蠶ヲ好ミ十二歳ノ頃ヨリ蠶期ニハ母ニ隨ヒテ天然育ノ飼育法ヲ實修シ、十四歳ノ春ニ至リ、長野縣小縣郡上鹽

尻村塚田與右衛門ノ著述ニシテ寶歷七年ノ發行ニ係ル「養蠶秘書」ヲ讀寫シ、爾來日夜之ヲ熟讀含味シテ清涼育法ニ轉シ實驗スルコト數アリ、後君ハ養蠶家ノ養子タランコトヲ希望シ隣郡ノ高山長五郎ハ養蠶事業ニ熱心ナル男子ヲ養ヒテ長女ニ配センコトヲ願ヒ、茲ニ双方ノ意氣全ク相投ジ、君ガ高山家ニ入りテ嗣子トナリシハ明治十四年十一月ナリ、爾來君養父ヨリ懇切ナル指導ヲ蒙ムリテ事業ノ濫輿ヲ極メタリ、今其一端ヲ擧ゲンカ、養父頗ル養蠶書ニ富メリ、然リト雖、初ヨリ君ヲシテ之ヲ讀マシムルコトヲナサズ、專ラ實地ノ事業ニ就カシメ主トシテ養蠶日表ヲ製スルコトヲ勉メシム、居ルコト殆ンド兩年、是ヨリ養父ノ自得セル飼育方法ニ遠キ養蠶書ヨリ漸次進ンデ近キモノヲ與ヘラレ終ニ先輩ノ諸說ヲ取捨折衷シテ自得ノ飼育法ニ照シ、説明舉証シテ誘掖セラレタルガ如シ

君曾テ謂ラク「養蠶ノ目的ハ善良ナル生糸ヲ得ルニ在リ」ト、乃チ養父ヲ輔佐シテ有志家ト料リ、坐操揚返シ器械ヲ設ケテ生糸改良ノ端緒ヲ開ケリ、明治十六年埼玉縣兒玉郡沼上村ニ開設シタル高山組及ビ競進組聯合ノ私立繭共進會ニ於テ其審査員ヲ囑托セラレタリ、是ヨリ先、養父門下ヲ獎勵センガ爲メ繭品評會ヲ開クコト數回、君常ニ養父ヲ輔佐シテ力ヲ致セリ、全十七年養蠶改良高山社ノ組織成ナルヤ君ハ推サレテ其副社長トナル、全十九年社員ノ増加ハ以テ樞要ノ地ヲトシ、高山社ヲ新築移轉スルノ一大急務ナルニ接セリ、君養父ヲ輔ケテ社員ト議リ東奔西走シテ地ヲ藤岡町ニトシ、經營畧ボ成リテ養父遠逝ス、君遺言ヲ服膺シテ新任社長町田菊次郎及社員ト謀リ率先シテ金百圓ヲ投ジ、寄附金ヲ募集シテ養蠶改良高山社及ビ全傳習所ヲ藤岡町ニ建築セリ、時ニ明治二十年三月ナリ

全年神奈川縣八王子町一府九縣聯合共進會へ收繭二種ヲ出品シテ四等賞ヲ賜ハレリ、殊ニ亡養父長五郎ガ生前ノ功勞ヲ追賞セラレテ、金拾五圓ヲ時ノ農商務大臣黒田伯爵ヨリ君ニ下賜セラレタリ、君此恩典ニ感激シ亡父ガ地下ノ喜ビヲ想ヒテ流涕セリト云フ、此年群馬縣蠶糸業組合取締所ヨリ、綠野郡矢場村外四ヶ村世話役及ビ蠶糸業組合検査役助手ヲ委托セラレタリ、全年製糸改良高山組々長ニ推サル、全二十一年町田菊次郎其他有志家ト料リ米國直輸販賣生糸事業ニ着手セリ、全二十二年佛國巴里府ニ開設シタル萬國博覽會へ赤熟繭ヲ出品シテ褒狀ヲ贈與セラル、全二十三年第三回内國勸業博覽會へ赤熟、又昔兩種ノ繭ヲ出品シテ有功二等賞牌ヲ賜ハリ、全年大日本農會品評會開場地兵庫縣應構内ニ收繭ヲ出品シテ三等賞金若干ヲ賜ハレリ

全二十四年社長町田菊次郎ヲ輔ケテ社員ト謀リ、故社長ガ功德碑建設

及ビ繭共進會開設ノ事件ニ奔走シ、進ンデ金百圓ヲ投ジ、遂ニ不朽ノ功德碑ヲ建設シ、盛大ナル繭共進會ヲ開ケリ、君ハ其事務委員長ニ推サレタリ、全二十五年三月内閣賞勳局ヨリ、亡父ガ追賞トシテ金五拾圓ヲ君ニ賜ハル、君ガ満足社員ノ歡喜思フベシ、此ニ於テ社員舉リテ社内ニ盛筵ヲ張リ、社長町田菊次郎及ビ君ヲ兩賓トシテ招待シ、大ニ祝賀ノ意ヲ寄セラレタリ、全二十六年宇都宮ニ於テ開設シタル一府六縣聯合共進會ヘ收繭ヲ出品シテ二等賞ヲ下賜セラレタリ

君至孝ニシテ亡養父ノ遺志ヲ繼ギ蠶業改良ニ熱中セリ、曾テ高山社及ビ傳習所新築ノ舉アルヤ、率先シテ金百圓ヲ義捐シ、其後功德碑建設及ビ繭共進會開會ノ盛式アルヤ、君復奮テ金百圓ヲ奇附セリ、此他明治二十四年十一月、ニ於テハ、曾テ亡父ガ腦中ニ計畫シテ末ダ果タサハリシ間口七間三尺奥行四間五寸ノ二階家ヲ新築シテ亡靈ヲ慰メタリ、君常

ニ人ニ語リテ曰ク

亡父存生中「蠶業集録」ナル書籍ノ編輯ニ着手シタリシガ、未ダ脱稿ノ運ニ及バズ不幸中道ニシテ遠逝ス、亡靈ノ遺感知ルベシ

予若シ機ヲ得バ之ヲ續カン、然レトモ亡父ガ養蠶事業上ニ於ケル活訓練活知識ヲ得タルモノ今ヤ無慮數千人ニ及ベリ、亡靈タルモノ夫レ或ハ瞑目スルコトヲ得ン、續稿スルガ如キハ蓋シ無用ノ事業タラシ

ト、想フニ高山社ガ今日ノ盛運ニ至リシハ君ノ力多キニ居レリ、實ニ君ノ如キハ蠶業改良上有爲ノ人ト云フベシ

第十六章 高橋茂太郎

君ハ養蠶改良高山社ノ副社長ニシテ、萬延元年四月五日ヲ以テ群馬縣

多胡郡下日野村(現今ノ日野村大字下日野村)ニ生ル家世々農桑ヲ業トス、君幼ヨリ意ヲ養蠶事業ニ傾ケ常ニ自ラ好テ蠶桑ノ勞ニ服シ、或ハ書籍ヲ友トシ或ハ大家ノ門ヲ叩キテ研究多年ニ及ヘリ、會々隣郡高山村ノ人高山長五郎、清温育ト稱スル養蠶方法ヲ自得シテ名聲日ニ高ク、高山組ナルモノヲ設ケテ其實績炳然タリ、明治十年君意ヲ決シテ其門ニ入り飼育ノ方法ヲ學ベリ、翌年教授員ニ撰拔セラル、是ヨリ飼育ノ方法ヲ各地ノ養蠶家ニ傳習シテ益ヲ與ウルコト年アリ、全十四年上毛繭共進會ニ收繭ヲ出品シテ、三等賞銀盃ヲ贈與セラル、全十五年群馬縣主催七縣聯合繭糸織物共進會ニ收繭ヲ出品シ四等賞トシテ木盃一個ヲ賜ハル、全十七年三月高山組々長高山長五郎ヲ輔ケテ組員ト謀リ官準ヲ得テ高山組ヲ養蠶改良高山社ト改稱シ君ハ其監査員ニ推サレテ汎ク社員ノ飼育方法及ビ授業員ノ勤惰等ヲ監査セリ、全十八年東京上野公

園内ニ開設シタル繭糸織物陶漆器共進會ニ收繭ヲ出品シテ五等賞三ツ組木盃ヲ賜ハル、全十九年社長高山長五郎逝キ町田菊次郎之ヲ襲クヤ、君ハ推サレテ副社長ニ舉ゲラル、君故社長ノ遺志ヲ繼ギ社長町田菊次郎ヲ輔ケテ社員ト謀リ全二十年三月地ヲ藤岡町ニトシ、養蠶改良高山社及ビ全傳習所ヲ建築セリ、此年十一月神奈川縣八王子町一府九縣聯合共進會ニ於テ故社長生前ノ功勞ヲ追賞セラレ金幣下賜ノ恩典ニ會ヒテ其榮譽ヲ荷ヘリ、全二十一年群馬縣ヨリ、積年養蠶ニ從事シテ飼育方法ヲ研究シ、改良上其功勞尠カラザル越ヲ以テ金壹圓ヲ賜ハル、全二十二年佛國巴里府ニ開設シタル萬國博覽會へ赤熟繭ヲ出品シテ銅賞牌ヲ寄贈セラル、全二十三年第三回内國勸業博覽會へ蠶種ヲ出品シテ二等有功褒狀ヲ下賜セラレタリ、全二十四年故社長ノ功德碑建設及ビ繭共進會開設ノ舉アルヤ、君社長町田菊次郎ヲ輔ケテ社員ト議リ、奔

走シテ大ニ其勞ヲ取レリ、全二十五年三月内閣賞勳局ヨリ、故社長ノ追賞ニ接シテ其榮譽ニ浴セリ、全二十六年宇都宮ニ於テ開設シタル一府六縣聯合共進會ニ收購ヲ出品シテ二等賞ヲ下賜セラレタリ、君ハ故社長ヲ輔佐シテ現社長ヲ翼賛シ、常ニ高山社ヲ愛育保護シテ社運ヲ高メリ、其功績頗ル大ナリト云フベシ

第十七章

高山社ハ藤岡町ノ高山社ニアラズ

シテ日本國ノ高山社ナリ

高山社ガ今日如何ニ其枝葉ヲ各府縣ニ繁茂シ、如何ニ其蟠根ヲ日本全國ニ擴張シタルカ、左ノ地方別社員姓名ヲ一讀セバ、實ニ高山社ハ藤岡町ノ高山社ニアラスシテ日本ノ高山社ナルコトヲ知ルヲ得ン

● 埼玉縣

○玉兒郡上真下村松本國五郎、伊藤會一郎、土岐澤泰市、伊藤金作、片貝藤次郎、高橋勘藏、新井源次郎、吉田源七、吉田三良平、飯嶋權三郎、三友暉四郎、田嶋百藏、吉田金作、久保才一郎、松本篤五郎、土岐嶋マチ、福島鹿次郎、新井平吉、伊藤伊平、吉田喜平、新井秀五郎、新井千賀吉、田中利平、清水兵助、新井常吉、高橋安五郎、片貝龜太郎、片貝兵三郎、伊藤秋作、山田幸七、山田藤次郎、片貝伊五郎、片貝讚平、岡田茂次郎、田中忠三郎、田中嘉吉、新井善達、三友彌市、高橋喜三郎、堀口良藏、堀口留吉、新井鶴吉、吉田久平、塚越喜治、片貝喜藏、清水熊吉、福嶋榮太郎、○兒玉町久米鶴藏、木村幸八、新井八太郎、櫻澤伊太郎、櫻澤重吉、新井捨五郎、新井與三郎、町田沖平、下山作藏、伊與部彌三郎、○入淺見村木村長七郎、山本市太郎、石井理三郎、町田鶴吉、吉川松太郎、○旭村大字都島村織茂元

高山社ハ藤岡町ノ高山社ニ非ズ日本ノ高山社ナリ

(六十一)

四郎、織茂磯八、織茂佐平治、戸塚伊之助、○若泉村大字渡瀬田中佳太郎、戸坂安太郎、原鉄五郎、須藤勘三郎、大野徳平、小林儀三郎、大谷鶴吉、根岸松太郎、渡邊慶次郎、山口又五郎、○旭村字沼和田村田代寅次郎、小林浪太郎、○吉田林村山田美之作、池田信太郎、峰岸周助、峰岸宗吉、峰岸喜平、豊泉重吉、瀧上忠太郎、山田安之助、山本喜造、久保田貞次郎、○共和村大字今井矢崎九平、鈴木鷺五郎、鈴木兼吉、新井作太郎、○西富田村鈴木關太郎、○旭村大字新井吉野仙太郎、吉野平吉、佐藤連吉、天野榮三郎、鹿田藤作、飯田幸太郎、吉野安平、古澤宗吉、吉野丈作、福田丑松、坂上佐平次、境野嶋吉、○旭村大字長王道根岸梅太郎、木村喜傳次、栗田伊平、石川直八、藤野末吉、木村辰五郎、栗田佐四郎、栗田高吉、五十嵐徳次、福本房吉、大塚善太郎、○旭村大字下野堂鹽原道三郎、鹽原彦藏、○阿久原村四方田十七吉、○旭村大字山牛道栗田庄三郎、○賀美郡丹莊村大字肥土村福嶋安五郎、高橋眞吾、中澤兵内、高橋喜藤治、高橋都三郎、淺見長五郎、淺見爲助、藤

牧利三郎、中澤林次郎、鹽田染太郎、秋山定四郎、神久豊吉、中澤正三郎、○丹莊村大字四軒在家小林惠之吉、坂本健作、○長幡村大字長濱笠原瓊二、小林勝五郎、小林由三郎、赤見宇三郎、設樂玉吉、設樂源藏、庄荒三郎、新井雛藏、新井時郎、○長幡村字阿保横山榮次郎、岩崎寅吉、岩崎幾太郎、福島三郎四郎、新井彦松、稻葉縫三郎、小暮清次郎、茂木泉二、○長幡村字阿保坂本金太郎、○長幡村大安原新田杉山六三郎、川野峰七、塚越庄三郎、吉田子之吉、田端庄藏、杉山大作、田端秀吉、○長幡村大字肥土藤牧字十郎、中澤定四郎、○長幡村大字藤木戸松本眞、齋藤馬次郎、齋藤常吉、齋藤金次郎、齋藤熊三郎、田嶋竹次郎、川田彌三郎、田嶋爲三郎、川田源作、齋藤藤太郎、○七本木村大字三町坂本綱五郎、齋藤傳次郎、高野武一岡村梅太郎、萩原久五郎、坂本遊太郎、坂本涉吉、高橋富士太郎、立石勘五郎、伊藤宇吉郎、橋本儀七郎、○七本木村杉山重太郎、相川柱五郎、嶋田甚藏、金井富作嶋田品五郎、新井久米吉、大林國三郎、吉田龜代藏、須永忠平、中村艶吉、保延彦

吉、内田濱次郎、清水徳次郎、相川伊子太郎、○七本木村大字嘉美谷木鶴吉、野口由太郎、手塚波藏、手塚徳藏、○黛村飯塚市郎平、飯塚新太郎、八木富次郎、八木八郎治、八木喜四郎、萩野徳藏、石倉庄藏、石倉喜平次、飯塚平藏、飯塚國五郎、中澤良平、○賀美村大字金久保間々田勇吉、南雲庄太郎、間々田高次郎、間々田伊八金井久藏、飯塚房吉、大澤庄松、岩田和吉、岩田梅次郎、間々田才次郎、大野紋十郎、○賀美村大字勅使河原高橋琴吉、石原歌吉、久保隣太郎、久保九一郎、高橋善五郎、高橋長一郎、新井左文治、新井多藏、新井丈一郎、古矢野彦吉、武井長次郎、安原半五郎、新井高次郎、武井吉三郎、石原清八、齋藤彦五郎、久保傳吉、飯塚甚三郎、久保龜松、齋藤政次郎、久保秀次郎、松材友吉、久保清七郎、小澤丑松○丹莊村大安八日市中山治三郎、木村安次郎、眞仁田佐平、清水彦次郎、福島半十郎、坂本又三郎、安東平四郎、落合新太郎、安藤平吉、○石神村栗原金次郎、根岸金作、田中綱五郎、根岸芳五郎、根岸吉衛、玉野菊三郎、山下龜吉、根岸庄平、入澤

要藏、高野百太郎、栗原善平、山下静司、加嶋百太郎、根岸熊太郎、山下金五郎、加嶋林作、根岸源次郎、岡部和三郎、○長幡村大字大御室坂本賢次郎、蓮榮次郎、坂本利平、清水長十郎、坂本三平、坂本浦八、坂本リカ、坂本兵三郎、青木勘五郎、吉野清作、中久木盛太郎、坂本孝四郎、石關才吉、坂本半四郎、横山吉次郎、眞下伊之吉、坂本額太郎、清水喜太郎、角田又平、飯塚善太郎、坂本造酒藏、坂本金作○長幡村大字長濱鈴木留吉、設樂慶四郎、松本安作、塚越源三郎、仲原龍三郎、田端歌吉、○長幡村大字五明安藤涉吉、○長幡村大字帶刀川田縫太郎、川田濱吉、塚後半七、伊井榮太郎、杉山伸五郎、杉山伴七、金井菊太郎、川田藤吉、川田艶吉、川田喜代松、田端常吉、金松五郎、清水傳吉、清水季次郎、川田利平、川田千代太郎、○神保原村大字八町川原小林親太郎、小林佐藏、○秩父郡三田川村大字河原澤南龜三郎、北利八、高野吉丸、武井晋八、山口與三郎、南定次郎、南和十郎、山口定吉高橋源三郎、黒田平吉、南友吉、黒澤文平、南和藤次、北藤吉、高橋宇市、北團作

南龜吉、山口重作、山口文作、南新作、○金澤村田方田喜太郎、高橋金五郎、都嶋八十治、出牛政五郎、手田德太郎、田方田民次郎、○上吉田村宮前歌吉郎、山口新九郎、古川音吉、宮崎谷吉、新井太藏、垣界源九郎、原壽吉、古川仲吉、古川健治、黑澤京平、新井吉平、落合良太郎、町田儀三郎、落合齊次郎、柳原傳藏、新井晋三郎、小松兼吉、八木國平、○岩田村野村安太郎、野村善吉、野村作次郎、野村清次郎、野村龍助、野村啓八、野村寅三、野村鐘三郎、野村米吉、野村甚太郎、野口勝太郎、○三田川村大字飯田大塚梅吉、松田伊三郎、大松慶三郎、笠原喜三郎、笠原九藏、黑澤太重、白毛學三郎、鹿嶋伊三郎、笠原安吉、笠原貞結、兒玉多藏、落合歌吉、藤田九慶、權上關八、○野上村大字本野上福嶋駒吉、福嶋利助、高田久三郎、淺見百太郎、高田忠五郎、淺見源太郎、吉田三十郎、淺見菊四郎、野口安吉、持田久吉、高橋定吉、福嶋寅作、福嶋嘉十郎、福嶋角次郎、淺見富吉、高田伴次郎、新井秀藏、櫻澤多三郎、○樋口村字野上下郷林常太郎、○野上村大字上野上高田市三郎

金澤岩太郎、新井啓次郎、大澤國吉、新井和三郎、○樋口村大字野上下郷石上半三郎坂上龜吉、福田海藏、矢内平太郎、田端太三郎、田端德三郎、福嶋寅吉、○白鳥村大字金尾新井浪次郎、齋藤作太郎、柴崎才次郎、新井吾兵衛、町田辨吉、新井福太郎、町田太吉、石井豊太郎、田嶋與市郎、高野清六、○白鳥村大字藤倉新井昌平淺香丈助、宮前周作、○兩神村高島房吉、大谷鶴次郎、大谷與三郎、大谷源作、大谷爲十郎、高橋茂三郎、○樋口村大字矢那瀬野原想吉、野原貞次郎、野原藤作、野原伊三郎、飯野重郎平、飯野善平、須賀篤五郎、南廣吉、中惣五郎、南萬次郎、新船彦吉、石井龜太郎、新船新三郎、新船信太郎、南太平、野原友作、中弓之助、横山品五郎、中畝清四郎、植松清三郎、飯野僖三郎、横山キク、白井伊之吉、野原兼藏、須賀庄次郎、横山角次郎、須賀辰五郎、大澤宇之吉、須賀九十郎、南勝作、田端久吉、中畝重治、野原佐五郎、野原寅吉、南定次郎、石井今吉、○巢瀬村大澤琴次郎、新船角次郎、南金太郎、○井戸村田嶋由五郎、○倉尾村大字日尾關口清三郎

丸山源八、小森福松、柳原綱五郎、岸澤儀助、關口俊平、○倉尾村大字藤倉淺香幾三郎、○國神村大字大測金室彦次郎、○皆野村設樂宗吉、○日野澤村井深要三郎、○三田川村大字三山山崎房吉、黑澤金吾、黑澤文四郎、黑澤文六、高橋久松、○三田川村字川原澤黑澤佐源太、○兩神村大字薄出浦伴平、飯塚次六郎、黑田泰次、淺見武藏、淺見政吉、淺見卯作、黑田谷五郎、權上吉内、權上良作、權上忠藏、坂本桂藏、○三澤村真下近三郎、○樋口村大澤濱五郎、松本安五郎、南市太郎、横山岩五郎、横山友三郎、横山傳吉、柳井新之助、○樋口村大字野上下郷矢内平太郎、田端太三郎、田端和市、田端德三郎、○白鳥村字金尾新井清十郎、○榛澤郡花園村大字武藏、野根岸寅七、荒木德太郎、大澤幸太郎、飯嶋仙五郎、金子佐十郎、嶋田清太郎、戸塚清吉、金子寅吉、堀江千代吉、市川三之助、根岸百之助、大澤常太郎、戸塚啓次郎、市川五百作、市川忠平、市川善作、戸塚幸助、藤野啓藏、金子石太郎、小林近三郎、根岸啓次郎、根岸定五郎、大澤泰二郎、藤野鶴治、小池宇市、志村久吉、小

池與十郎、大久保由太郎、根岸熊吉、岡伊與吉、高木喜一郎、小池寅三郎、富田程三郎、根岸友吉、市川松太郎、市川重太郎、大澤惣十郎、志村勘三郎、市川巳之助、小嶋作太郎、小林久之助、荒木嘉一郎、戸塚美太郎、飯嶋惣七、福嶋榮三郎、嶋田德太郎、吉岡金次郎、高野盛三郎、栗原定次郎、○藤澤村大字境岡田仙五郎、金子泷太郎、金子嘉平、新堀福太郎、塚越正治、○藤澤村大字柏合神田源次郎、神田虎五郎、神田甚太郎、神田金作、持田整、岡野谷榮次郎、笠原元吉、笠原鹿次郎、蛭川儀蜂、塚越孫太郎、塚越安太郎、神田菊次郎、神田林藏、神田竹松、塚越重吉、塚越伊之吉、○藤澤村大字橙合菲塚勝之助、○藤澤村大字上野臺村福地ノブ、○今井村清水四郎兵衛、野口嘉四郎、清水長右衛門、○花園村大字武藏野金子箴平、金子懿重、大澤秀吉、戸塚ヤス、○寄居町久保竹重、久保幸太貞、○武川村塚越兼之助、塚越孝之助、柴崎松五郎、○櫻澤村大字櫻澤中嶋幸太郎、戸森廣吉、根岸彌平、内田周作、内田甚五郎、内田關藏、内田秀吉、内田直吉、内田信次郎、内田彌市、

内田民藏、吉田貞一郎、木嶋文吉、野邊牛松、吉田平輔、梅澤喜惣次、岩崎源八、
内野新五郎、岩崎松藏、金子音吉、梅澤鶴吉、木嶋林平、柴崎徳太郎、渡邊國定、
松崎周吉、松崎房五郎、戸森清吉、室岡九十郎、中嶋竹次郎、松崎銀平、○寄居町
大字末野高橋彌太郎、高橋丈七、大澤萬五郎、大澤初五郎、大澤惣八、關根幸太郎
岩田福太郎、高橋半平、吉田才次郎、吉田伊平治、新井仲八、高橋宇之助、大澤龜
太郎、今井寅吉、黛米太郎、淺見源藏、渡邊辨次郎、山田宇之吉、關根伊八、大谷
藤作、小岸治平、松村留吉、松村金五郎、松村彦太郎、堀越桂二郎、今井信十郎、
貞篠佐四郎、淺沼多十郎、淺見要藏、吉田龜吉、淺見清十郎、高橋良吉、田島喜十
郎、山崎勝藏、大澤喜三郎、田村熊吉、松村喜三郎、芝崎善平、○用土村中嶋渡平
次、中嶋三郎平、中嶋幸三郎、小久保半十郎、新井菊次郎、福嶋彌十郎、井口三作
福島春吉、渡邊安太郎、田村銀太郎、大木千代太郎、中島歌次郎、神岡甚造、清水
近三郎、押田仁助、井口繁太郎、福嶋才三郎、井田藤三郎、大嶋林次郎、福嶋愛三

郎、福島小平、福嶋寅吉、松本徳太郎、小島久藏、井口千代吉、山本辰五郎、山本
巳之吉、渡邊辨次郎、清水芳五郎、關谷利三郎、蓮光寺、小測健次郎、清水類三郎
渡邊嘉十郎、新井市五郎、清水久次郎、福嶋松太郎、福嶋善八、鈴木市作、鈴木甚
五郎、中嶋瀧藏、渡邊平松、常木友藏、鈴木六三郎、中島斧吉、杉田園太郎、○花
園村大字小前田出浦榮三郎、田中彌輔、田中彌平、大場房吉、出浦長五郎、石塚幡
四郎中村多十郎、石塚龜吉、中村常五郎、町田佐一郎、小林貞三郎、石川宗太郎、
出浦幸重郎、吉田岩吉、石塚淺吉、茂木嫌松、高橋幸太郎、柳紋五郎、小林萬平、
馬場傳藏、岡田彦四郎、石塚鶴松、中村林五郎、原田宇吉、町田勇造、大場多藏、
出浦利平、淺見清三郎、鈴木幾三郎、田中慶藏、石川竹五郎、田邊熊藏、須藤市郎
吉野辨次郎、馬場熊吉、馬場長一郎、小川新三郎、淺見藤五郎、茂木角次郎、○美
澤村字柏谷塚越正次、○男衾郡折原村大字折原松本信太郎、○折原村大字私山金子
艶太郎、古澤磯四郎、吉田忠右衛門、吉澤磯五郎、田中邦太郎、小林淺次郎、○折

原村大字三品村岸兵四郎、門松萬之助、鳥場儀右衛門、森甲子之助、森美禰、三志奈正次、關根梅右衛門、○男衾村大字富田新井藏三郎、吉川喜平治、石澤九平、吉川奥藏、關根仙之助、嶋崎彦太郎、山崎角太郎、○折原村大字立原村黒澤初太郎、保泉爲作、保泉忠太郎、保泉角三郎、保泉幸太郎、○鉢形村字鉢形森田熊次郎、神谷萬藏、○折原村大字西ノ入酒井和一郎、○幡羅郡大字葛和田北條察明、鈴木兵次郎、舞原誠太郎、鈴木留平、岡田造酒造、荒井宗壽、根岸仙一郎、高野與三郎、龜田吉五郎、吉川源造、齋藤繁藏、長井倉吉、春田源太郎、○長井村字八ッ口大嶋長八、○大里郡大幡村字原嶋清水金三郎、塚田吉藏、清水銀藤、○北葛飾郡權現堂川村字吉羽竹澤九藏、○北埼玉郡成田町岡村豊作、○廣田村大字廣田久保久右衛門、○青倉村大字飯積利根川菊郎次、○大越村大字大越長谷部宇平、○高柳村渡邊八左衛門、○成田村字上野米澤仁三郎、秋元重五郎、○南埼玉郡芝山枝郷坂卷石五郎、○青面村富澤庄五郎、○粕壁町高橋力三、○江面村大字北青柳柿沼金太郎、○鷲宮村

大字鷲宮細井字之助、○比企郡植木村大字上袋關根常吉、○南埼玉郡馬込村本橋長吉、○比企郡元上伊草村福島巳之吉、○福嶋村字和泉野澤權十郎、○那珂郡大澤村大字圓良田村相場福太郎、野澤市作、○中葛飾郡櫻井村字椿小久保乾二、○大里郡小八ッ木村金子九平、○印幡郡立合村字瀬戸寺本長作、竹内源右衛門、●東京市麴町區日比野長城、○神田區鈴木菊次、石川金之助、三浦カツ、○日本橋區渡邊友吉、○芝區松藤ヒロ、上野松之助、○牛込區福山嘿禪、○下谷區海老原僚作、○本所區山本レン、未岡カツ、○本郷區秋山銚一、○淺草區加藤與三郎、

●東京府

荏原郡上目黒村太田偵一郎、○東多摩郡井萩村字元下井草榎本鉄次郎、○北豊嶋郡石神井村字元下石神井渡邊惟一、鴨下藤左右門、栗原金藏、高橋平藏、○石神井村字元上土支田村加藤利兵衛、○石神井村字元下石神井村豊田重藏、豊田勝五郎、豊田長太郎、○石神井村字元谷原水越正義、○上練馬村字元下土支田村五十嵐才太郎

關口吉右衛門、關口惣五郎、碓石力造、中井川伊左工門、中井川元次郎、中井川瀧造、中井川春吉、小嶋兼吉、富澤々十郎、坂本宗平、

● 埼玉縣

幡羅郡玉井村大字玉井並木榮作、○入間郡福原村大字今福村土金徳太郎、○東金子村大字小谷田園部五作園部與八、齋藤角太郎、澁澤辨吉、瀧澤米吉、高橋新六、桑田伊兵衛、○根岸村中嶋重藏、○元狹山村大字駒形富士山栗原元次郎、○毛呂村大字長瀬村龜井延助、福田幸作、齋藤清次郎、栗原代吉、龜井卯助、齋藤熊吉、吉田菊次郎、平野折之助、○三ヶ嶋村中禹八、杉本菊之助、木下元次郎、石井鶴吉、水村仁三郎、新藤善兵衛、萩原金八、石井竹藏、粕谷勝五郎、豊田年太郎、木下市五郎、加藤仲藏、木下文太郎、河野理吉、中友太郎、○前久保村中井半八、新井啓三、新井徳助、新井染次郎、○福原村字今福村石井喜曾藏、石井万藏、佐野鉄五郎、土金岩吉、○堀兼村字中新田岡本子之吉、○東金子村字小谷田森田音五郎、○東金子村

字新久間野三郎平大野林吉、○金子村字根岸水村十七吉、高山萬吉、○大里郡久下村字新川岩崎儀助、○久下村字形原小杉清衛、荒井儀右衛門、○御正字樋春馬塲藤平、○北葛飾郡權現堂川村大字上吉羽石塚勘左、○松伏領村字大川戸村横川長吉、○北足立郡土合村大字榮和波田野嘉七、○原市町矢部幸司、○美谷本村大字内谷石井藤吉、○吹上村大字大芦近藤國五郎、○新座郡白子村大字白富澤澤次郎、

● 東京府

西多摩郡吉野村字下村持田幸助、嶋崎村吉、○吉野村字畑中土方竹造、土方太右衛門、○吉野村字下村榎戸清右衛門、鈴木紋藏、松澤丑之加、森田富五郎、森田吉五郎、○吉野村字畑中渡邊貞造、○吉野村字和田並木政五郎、井上徳兵衛、○吉野村字下村鈴木勝藏、○吉野村字畑中福嶋彦太郎、福角建三郎、鈴木義長、机作造、机喜太郎、清水淺次郎、○平井村伊藤定吉、田中英助、松永勘次郎、田中次郎左衛門、和田光郷、木住野新太郎、平山茂助、石川三十郎、佐々木一徹、○五日市町土屋甚

五兵衛、○調布村字下長測久保嘉吉、久保次郎吉、久保爲吉、久保傳吉、久保猪十郎關塚清吉、○調布村字上長測田中覺三郎、田中孫次郎、岩波源三郎、並木長三郎田中金造、並木民造、宇津木源三郎、宇津木榮三郎、大谷新八、○調布村字下測八木龜吉、小嶋吉造久保勇次郎、八木勘次郎、南政平、小嶋亦四郎、濱野金次郎、大野太吉、八木丑五郎、佐藤玉次郎、久保菊太郎、○調布村字駒木野坂本鶴吉、高橋新右衛門、田中仲右衛門、高橋磯吉、濱中淺五郎、鈴木鶴吉、高橋清兵衛、○調布村字友田石田捨五郎、梶熊次郎、輪千大五郎、宇津木定吉、村文藏、清水次左衛門久下藤吉、細谷時平、下田清次郎、坂田竹造、○調布村字長閑中村辰五郎、岩波常吉、大谷安太郎、○西多摩村嶋田文景、指田竹次郎、中根善八、島田太三郎、小山七五郎、嶋田政吉、嶋田富十郎、○檜原村高取六郎左衛門、清水淺次郎、富田靜應高木伴吉、市川茂右衛門、小林八兵衛、小林彦右衛門、小林四郎左衛門、小林宮次郎、小林六之助、久保田作太郎、峰岸幾藏、峰岸市五郎、高橋勇吉、谷合直次郎、

畑患八、吉野市郎右衛門、師岡源五郎、吉野群次、高取八十吉、岡部權次郎、小室重右衛門、幡野才兵衛、小泉幸次郎、野口安五郎、高取莊右衛門、吉澤喜代次郎、大野兼吉、長田代吉、小林與助、大谷莊兵衛、峰岸泰藏、高木龜吉、森田久兵衛、森田惣左衛門、小林儀三郎、久保田米吉、宮崎莊左衛門、峰岸門登、峰岸九郎左衛門、久保田久米吉、高本清兵衛、野口鹿之助、吉野一郎、○原小宮村字乙津市川茂左衛門、浦野嘉十郎、浦野治郎右衛門、浦野久吉、乙津治郎左衛門、市川定吉、市川與五左衛門、市川左衛、乙訓平吉、市川倉之助、乙津高次郎、岡部國五郎、市川庄左工門、浦野錠之助、浦野新三郎、浦野周造、市川高次郎、市川八右衛門、浦野才次郎、浦野藤三郎、乙訓德次郎、乙訓源三郎、○戸倉村近藤源次郎、私市寛一郎、上田登一、高橋佐吉、渡邊孫太郎、私市源六、萩原平八、黒山太郎吉、宮本喜三郎、萩原角左衛門、森田松太郎、高橋作次郎、高橋冠爾、山崎藤藏、宮本留吉浦野勇助、清水源四郎、萩原正左衛門、萩山晴吉、清水彦次郎、木住野孫右衛門、

野崎喜三郎、萩原安太郎、○下村原嶋定吉、正親市五郎、原嶋勝藏、原嶋善八、嶋崎久藏、小川三十郎、藤野高右衛門、青樹善太郎、青木林右工門、武井愛助伊藤廣之助、森田吉五郎、○東秋留村字雨間平野延太郎、平野代次郎、小澤新作、萩原藤太郎、田邊音吉、○霞村字師岡山崎愛三、○成森村淺見久吉、○成木村加藤友吉、篠田周太郎、木崎理三郎、○熊川村森田忠三郎、○日影和田村志村茂三郎、○田嶋村陶山豊吉、○小曾木村高山秀七、安藤筆吉、○北多摩郡砂川村小林喜三郎、榎本勝五郎、間野鶴吉、石川安太郎、吉岡彌十郎、吉岡萬吉、栗原富造、小林金次郎、浦野源三郎、網野助次郎、田中彌三郎、岩田利三郎、山川辰五郎、小林安次郎、石塚吉五郎、清水代五郎、田中新太郎、山本幸藏、石川綱五郎、○中藤村野村龜次郎川嶋秀之助、渡邊馬次郎、森谷友次郎、神山村次郎、神山與右衛門、神山六藏、野村ヤナ、川島金五郎、川嶋四郎右衛門、○西府村大字本宿佐伯豊吉、

● 神奈川縣

都築郡二俣川村清水嘉親、○川井村金子八郎兵衛、長田七兵衛、志村作左衛門、阿部仙藏、金子七右衛門、○今井村、矢部延秋、矢部仁兵衛、清水孫右衛門、清水四郎兵衛野口彦四郎、清水長右衛門、細水市右工門、矢部小兵衛、小泉與助、清水萬吉淺見久吉、○今宿村吉原森藏、井上清兵衛、本田紋左工門、本田良助、○上星川村菊部廣助、○市之澤村河原吉右工門、佐藤淺次郎、野口幸次郎、河原秀八、野口竹次郎、河原彌兵衛、佐藤瀧藏、佐藤高忠、佐藤留次郎、○三反田村井上巳之助、○新田村大字小高新田小高要藏、○川嶋村中田勝藏半田泰造、○愛甲郡三田村高井勘平、三橋竹次郎、三橋八郎、大澤福太郎、大澤伊三郎、遠藤力造、曾根鎌次郎、柳川重吉、小室與市、川口郷治、森住新太郎、金子園次郎、○棚澤村遠藤由五郎、○萩野村大字上萩野田口時次郎、田口金次郎、草柳久米七、○妻田村永野格次郎、山本國松永野義、○高座郡田名村志村高十郎、木下治良吉、木下定次郎、木下萬吉木下龜吉、石井重太郎、田所戸左工門、田所集太、木下小三郎、小河善之助、小林

辰五郎、○田名村大字野地西川福造、金井與茂作、○田名村大字湯原志村彌三郎、小林金右工門、小林源兵衛、中島熊造永田市兵衛、志村又兵工、山口源吉、山口吉五郎、永田字兵工、○溝村萩原彦松、金子亦五郎、石井清彌、石井勘右工門、石井代助石井傳工門、石井新左工門、佐藤金作、○大野村大字上矢部小峰庄吉、井上久米三郎、○大野村大字測野邊鈴木芳之助、天野兼三郎、○相原村字橋本矢嶋小太郎、矢嶋亦藏、森元次郎、柚木齊一、柚木寅松、尾澤波吉、○相原村字小山原代吉、原梅五郎、原喜助、○溝村大字上溝門倉五郎次、門倉重次郎、關田宗輔、北嶋甚五郎、中村濱太郎、小泉清十郎、愛島爲三郎、中村彌五郎、○鎌倉郡名瀬村渡邊桑次郎、近藤久右工門、近藤銀藏、近藤鉄五郎、近藤周助、門倉佐左工門、門倉庄兵衛、門倉徳右工門、渡邊市郎右工門、門倉庄平、近藤八右工門、○上永谷村奈良橋次郎吉、○舞村福壽嘉吉、○津久井郡青山村山口榮次郎、○川尻村金子源太郎、○足柄上郡酒田村大字延澤濟藤善太郎、○金井嶋村瀬戸米吉、○南足柄村大字猿山碓井忠右工

門、碓井貞十郎、○福澤村大字千津島加藤縫次郎、○吉田嶋村辻村徳太郎、○南足柄村大字狩野小松真次郎、○足柄下郡吉濱村嶋田甚之助、○久野村常盤廣藏、星野利吉、小林長吉、○小田原町大字幸町齋藤常藏、○富水村字堀ノ内中嶋和吉、○久良岐郡戸田村大字太田大塚三吉、○大住郡土塚村大字吉澤増尾林之助、○南多摩郡忠生村大字上小山田牧野軍吉、○堺村字小山西口錠太郎、守屋桂次郎、杉山梅吉、杉山吉五郎、○加住村大字上高月小磯長之助、小磯初五郎、○坂井村内藤清兵衛、田中嘉右工門、○忠生村老沼和藏薄井熊十郎、○忠生村字上小山田森誠一、○橋樹郡田嶋村字小田陶山豊吉、

● 千 葉 縣

東葛飾郡馬場村大字新作齋藤清藏、齋藤ウラ、齋藤クラ、吉野マツ、○馬場村字桑谷花嶋マチ、○山崎村染谷幸三郎、○馬場村大字新作齋藤市藏、齋藤爲五郎、西野市郎兵衛、○下矢切村野間サダ、○朋村大字上本郷秋谷健、大塚ウメ、染谷トヨ、○

關宿町大字江戸會田富太郎、○小金町大字二ツ木永妻エイ、谷口キク、湯澤淳平、
 ○松戸町吉岡フミ、中山慶次郎、澁谷金藏、○匝瑳郡野田村土屋彌次郎、○新堀村
 伊藤彦藏、○西小篠村伊藤久左工門、○東陽村越川源太郎、○印幡郡武西村高橋彦
 次郎、○千代田村字生ヶ谷村根本松五郎、○稻穗村湯澤タケ、○阿蘇村太字村上小
 嶋源次郎、○六合村大字瀬戸齊藤太右工門、寺本長作竹内源右衛門、●海上郡綱戸
 村加瀬昌之助、○南相馬郡富清村秋谷源治、坂卷義方、○香取郡豊里村大字宮原栗
 林根之助、栗林音次郎、○山邊郡東金町大字押堀高宮辰次郎、梅室豊次郎、秋葉徳
 太郎、高宮勝次郎、長嶋乙吉、飯塚甚兵衛、松井喜惣次、秋葉茂吉、秋葉與志司、
 長島伊三郎、○正氣村大字元宿松戸貞五郎、中村定右工門、○正氣村大字幸田齊藤
 芳之助、大木藏太郎、齊藤又左工門、○豊海村太字真龜櫻井芳右工門、中村吉太郎
 中村鉄太郎、鈴木彌右工門、鈴木安太郎、小倉康藏、○豊海村大字藤下鈴木安次郎、
 鈴木孫右工門、○源村石田勘兵衛、猪野多喜次、井口文次郎、○大綱町伊藤虎松、

中村歌雄、○田中村櫻井万吉、○片貝村大字片貝稻生吉太郎、戸田常吉、津田昇、
 ○片貝村字小關板倉庄太郎、○廣瀬村廣瀬傳三郎、廣瀬林兵衛、廣瀬大三郎、○福
 岡村大字上谷井合喜一郎、日暮道太郎、高梨惣右工門、立脇仁太郎、石井芳松、野
 老菊太郎、○臺方村在原孫右工門、○大和村太字安養寺高浦廣吉、○太豊谷村實方
 莊輔、○市原郡鶴舞町伏谷檀伏谷イセ、吉田豊作、○上埴生郡下永吉村石井道太郎
 ○鶴板村大字永吉、林辰藏、○下埴生郡豊住村石塚茂參、○天羽郡佐貫村白石甚吉
 ○周准郡中村安田清吉、○夷隅郡古澤村大字桑田弓北喜代次、○武射郡上横地村石
 渡六左工門、野嶋龜吉、○太平村鈴木正中、○三川村字大臺區木川融吉、岡正一郎、
 ○大富村大字富田大高包三郎、○草深村牧野萬右工門、○南郷村小川林三郎、野嶋
 房次郎、○大総村字中臺伊藤凱介、綿貫小平、○大堤村名波勇太郎、○豊岡村布施祐
 藏、○緑海村字松谷小池六衛門、若林新三、木津川豊吉、今關丈七、般木松太郎、
 高橋新左工門、木津川友右工門、稗田友藏、今關太郎、齋藤市太郎、渡邊又三郎、

今關豊八、今關武惣次、小池廣次、鈴木幸藏、今井萬藏、○上堺村海保幸太郎、○八田村小柳孫兵衛、○長柄郡上陸村字上市場久我内藏助、○茂原町伊藤久米太郎、○豊田村高沼永八郎、○豊田村字小林齋藤惣三郎、○豊田村字長尾今關鉄藏、○平郡平久里下村原吉次郎、○國府村大字府中平松ヨ子、○望陀郡鎌足村字矢那井上寅太郎

● 栃 木 縣

足利郡菅田村仁木宗三郎、朝沼喜平、○毛野村大字岩井小和田長太郎、○毛野村大字北猿田前田泰次郎、長吉十郎、○菱村大字黒川山越キイ、○小俣村大字葉鹿青木與三郎、金子久米吉、石井善次郎、櫻井由藏、○小俣村大字小俣石井直平、石井右三郎、石井久松、阿部龍藏、阿部由藏、石井龜吉、高田重吉、○大月村高田多十郎、○三和村大字板倉堀江勘次郎、近藤久八郎、桑澤彌太郎、堀江鷺三郎、○操崎村阿部甚作、松崎半六、松崎丈七、○名草村中山照之助、三村文三郎、三村軍太郎、橋本國三郎、塩田文太郎、川上權藏、柏瀬金吾、中山宇平、相場富太郎、○江川村齊

藤善平、齊藤林左工門、○葉鹿村大字彦谷村松島友次郎、中嶋信吉、周東要助、大屋銀藏、周東兵太郎、○坂西村大字山下増田繁之助、阿部儀三郎、両縫貝幸太郎、田嶋彦平、茂藤義一郎、増田富之助、増田慶次郎、増田政之助、増田代助、川岸金次郎、根岸儀平、日山進、○田嶋村相場富八、相場千五郎、横山廣吉、横山文次郎、○芳賀郡物部村大字横田豊田甚作、○物部村大字鹿田村五郎、○物部村大字高田稻見留八、○下都賀郡大宮村大字大宮熊倉芳太郎、○稻葉村落合半次、○寺尾村大字星野大澤柳太郎、小野寺村江田春松、○上都賀郡落合村大字板橋江田辨藏、○粟野村小峰常雄、○板來村富久田伊知太郎、渡邊美一郎、渡邊茂一郎、○永野村字田精一、○安蘇郡飛駒村大字鍋澤藤倉藤吉、前原六三郎、提箸倉吉、吉田歌吉、○氷室村字柿平龜山榮吉、○河内郡宇都宮町塚原彦三郎、

● 長 野 縣

南佐久郡穗積村出浦龍太郎、出浦市太郎、出浦高一郎、出浦甚右衛門、興水岸藏、

内藤太平、渡邊岸太郎、○小海村新津仁六、○岸野村畠山三寅、○青沼村日向與茂治、日向國太、○上伊那郡朝日村中村皆吉、○埴科郡西條村草川雄次郎、○上高井郡豊丘村荒井萬彌、牧柳之助、○井上村平野鶴藏、○下水内郡豊野村高野助三郎、○下伊那郡飯田町黒柳勇四郎、

● 茨 城 縣

水戸市字下市瀧田勝、○水戸市字細谷新町永山トリ、○水戸市字花畑町蓮沼武次郎
 ○結城郡結城町大字大谷瀨須藤カク、○北相馬郡山王村大字和田和龍太郎、○高野村大字高野岩田太郎、○東茨城郡澤山村字上河野澤櫻井龜之助、○西茨城郡北川根村字長兔路鈴木龜五郎、○北川根村大字仁古田大貫萬英、○宍戸町大字平町大和田政之助、○笠岡町大字石井櫻井國吉、○豊田郡総上村大字小嶋柴寅吉、富岡庄之助、渡邊廣治、○西葛飾郡古河町字杉並町恩田經次郎、○五霞村大字江川山田寛一
 ○那珂郡湊町岡部三之助、檉村新次郎、峰岸清之助、○木島町字門部庄司長之介、

○大賀村外岡清太郎、小室延之助、○大賀本大字鷹巢柏音吉、○檜澤村岡崎酉藏、
 ○久埴郡金郷村大字中利川又タケ、○幸久村木村清太郎、○町村大森均一、○多賀郡日立村大字宮田佐藤房二、○松岡村字小手綱久保田久四郎、○鹿嶋郡田崎村田崎繁太郎、○河内郡長竿村大字長竿田々部繁太郎、磯部松太郎、○生板村字角崎町、
 蓮見トヨ、○新治郡園部村鈴木繁太郎、菅谷鎌藏、大概喜右工門、大概源四郎、大概初太郎、大概喜三郎、永井吉次、永井長三郎、○三村山口清二郎、坂本長助、太田長兵衛太田貞四郎、水谷才一郎、○七會村仲戸五郎右工門、仲戸儀八、仲戸久之助、畠山虎次郎、津賀平四郎、小野清造、齊藤三郎兵衛、齊藤彦重、齊藤庄右工門
 海老坪伊勢太郎、○荒嶋郡中嶋村大字息栖福田民三、○眞壁郡上妻村大字平方渡邊豊八郎、○大國村高庭德治、○上野村字向上野稻葉泰助、○眞壁町木村淺五郎、○北相馬郡小文間村岡田廣之助、

● 宮 城 縣

高山社ハ藤岡町ノ高山社ニ非ズ日本ノ高山社ナリ

登米郡米川村畠山源次郎、○下加美郡鳩瀬村字下狼塚行澤吉之助、○仙臺市北四番町前嶋次郎、○仙臺市字荒町増田多實、○栗原郡金田村秀城喜市郎、

● 福 嶋 縣

東白川郡棚倉新町菊地近次郎、○石川郡澤田村大字新屋敷吉田隆藏、○河沼郡坂本村小野庄左久、○大沼郡本名村菅家和藏次、

● 岩 手 縣

南岩手郡栗石村生内定美、上野廣成、○稗貫郡外川月村守山圭祐、○東閉伊郡刈屋村藤原肇、

● 青 森 縣

弘前市桶屋町野村富五郎、○東津輕郡青森町菊地隆、竹内藤次郎、○中津輕郡和徳村字向外瀬中嶋豊吉、○弘前市石戸谷ヤス、

● 山 形 縣

羽前國西田川郡鶴岡町字三日町余語長五郎、○飽海郡川行村字宮田石垣吉六郎、

● 秋 田 縣

山本郡富根村半川久藏

● 北 海 道

渡嶋國龜田郡七飯村福嶋勝次郎、渡邊久里、御手洗義衛、○茅部郡鷺木村内山規太郎、○龜田郡本郷村千葉榮治、○大野村栗原繁樹、品川駒之助、

● 石 狩 國

空知郡岩見澤村坂井算造、

● 愛 知 縣

名古屋市布池町牧幾二郎、○愛知郡彌富村字中根柘植謙太郎、○鳴海町近藤義質、○知多郡八幡村淺井關太郎、○大高村荒木増一郎、○豊濱村大岩原之、○愛知郡鳴海町中野初太郎、青山源左工門、荒川市次郎、福嶋源造、○知多郡豊岡村字古尾須

田彦吉、○大高村山口忠太郎、○寶飯郡國府村渡邊虎三郎、山科米吉、○竹ノ谷鋤柄彦三郎、○靜里村羽田サト、○豊岡村宮瀬新太郎、○鹽津村、小林初太郎、○額田郡相見村都築友四郎、○北設樂郡本郷村大字本郷加藤龜三郎、○八名郡加茂村安藤キミ、○幡豆郡寺津村天野文次郎、

● 靜岡縣

榛原郡川崎町字細江佐藤辰郎、○豊田郡瀧池村大字八幡杉森茂作、米澤甚太郎、鈴木延太郎、鈴木泰一、杉森佐次平、杉森松錦、杉森作平、鈴木榮吉、小杉惣次郎、米澤荒吉、小杉惣平、市川小三郎、米澤慶須計、米澤五郎作、米澤源八、○瀧池村大字永嶋伊藤吉三郎、市川逸平、市川芳太郎、市川藤枝茂、本間芳衛、本間源平、伊藤幸吉、伊藤久太郎、鈴木常藏、鈴木政平、鈴木銀平、鈴木龜吉、伊藤瀧十、伊藤宗一郎、伊藤半次郎、伊藤八三郎、今村七平、伊藤源七、伊藤善慶、本間茂三郎、市川利平、市川和惣次、市川甚三郎、市川高吉、市川伊吉、○中瀬村大字、

中濱河合梅八、河合常次郎、清水政八、河合孫太郎、河合文藏、大城荒吉、大城惣藏、村松濱次郎河合吉藏、河合喜藏、渥美伊藏、河合榮太郎、河合勝五郎、河合和佐次、河合由平、渥美文太郎、渥美八藏、鈴木善藏、木下健一郎、木下安平、木下伊豆茂伊藤市藏、平井辰巳、木下伊惠茂、市川武次郎、笹ヶ瀬常作、大城吉藏、木下伊賀治、渥美八郎、河合伊吉、木下龜吉、河合峯市、渥美淺工茂、河合善八郎、大城米吉、河内常藏、河合五平、河合奎平、河合熊吉、河合茂平、河合茂源治、鈴木勇次郎、大城兵八、木下今次郎、河合源三郎、河合虎吉、河合吉藏、木下松平、木下源平、大峯肇、大橋源三郎、大橋要藏、河合茂三郎、河合保、河内源四郎、河合長惠茂、河合久太郎、河合源太郎、河合平太郎、河合幸次郎、岩崎庄重、大田治左工門、小木忠平、横井茂吉、小木喜一、藤森常吉、平井榮重、河合太藏、○廣瀬村大字松ノ木嶋鈴木竹次郎、鈴木菊次郎、鈴木平三郎、鈴木京三郎、高田庄次郎、鈴木助六、村松平藏、鈴木仁三郎、鈴木熊藏、高田歷太郎、高田健次郎、伊藤清次

郎、鈴木佐平次、鈴木戸米吉、○中ノ町村字中ノ町高橋勇、○中ノ町村字長命磯部
 菊一郎、○中ノ町村字白鳥河村直次郎、○中ノ町村字長命伊藤眞平、○中ノ町村字
 大見竹山五郎平○中ノ町村字一色小林金太郎、○中ノ町村字白鳥田中廉三、河村書
 平、○中ノ町村字富田伊井田寅藏、飯田伊三郎、飯田伊代吉、磯部平吉、○中ノ町
 村字白鳥河嶋久右衛門、○袖浦村袴田林藏、○龍川村大字東雲名木下春藏、○岩田
 村兼子ハギ、○天龍村字方正寺清水タミ、○浦川村瀧魁、○中ノ町字磯部ハン、○
 龍池村大字新堀小杉蘭次郎、○袖ヶ浦村字大中瀬石川勘三郎、○長上郡美嶋村大字
 高畑山田昇太郎、戸田半平、戸田松太郎、淺野傳吉、生熊政太郎、石川與平、河合
 喜代次郎、石川新平、石川佐次郎、河合九惠茂、宮地彌太郎、松井新平、稻穂市太
 郎、○美嶋村大字平貴大田多十郎、○美嶋村大字東美蘭鈴木増榮、鈴木壽榮、藤森
 嘉平治、武田淺吉、永井次郎七、西尾久作、西尾源市、西尾已代治、鈴木德太郎、
 藤森源四郎、村松儀七、朝比奈七平郎、鈴木常五郎、渥美宮吉、鈴木芳太郎、鈴木

彌作、鈴木安吉、鈴木久三郎、鈴木幾太郎、鈴木勝次郎、渥美周平、神谷清藏、神
 谷清八、松本吉藏、鈴木常吉、小林連、鈴木已代吉、鈴木佐代吉、○美嶋村大字西
 美蘭森下彌助、森下長松、森下榮次郎、森下又三郎、森下忠三郎、森下龜太郎、伊
 藤次平、鈴木傳次郎、鈴木傳八、金原清吉、古木紋藏、○美嶋村大字油一色渥美仲
 三郎、渥美源次郎、渥美伊藏、○美嶋村大字寺嶋袴田幸次郎、袴田吉藏、中安保五
 郎、中安妻吉、池嶋角次郎、大村奎三郎、馬測彌三郎、太田仙吉、大村禮次郎、袴
 田政吉、袴田善喜、大村市五郎、中安林平、袴田善五郎、中安清太郎、○美嶋村大
 字本澤合川合徳太郎、市川孫吉、本澤久之造、鈴木惣太郎、川合金十郎、川合久吉
 鈴木市郎、川合吉藏、川合八百藏、川合嘉平、川合金藏、鈴木和吉、鈴木猶吉、川
 合伊十郎、○美嶋村大字中條細田佐太郎、細田金谷、○笠井町大字笠井新田今泉安
 太郎、高井忠太郎、高井五郎平、菅沼源吉、菅沼佐平、町田林藏、内山峰三郎、菅
 沼徳次郎、○笠井町大字下大瀬青嶋大運、青嶋作太郎、内山麟一郎、淺倉孝一郎、

○笠井町大字漆嶋田中要治、田中モヨ、○笠井町大字万解墨岡彌八、墨岡イチエ、墨岡市三郎、鈴木茂、山本治太郎、澤木猪太郎、志摩貞次郎、馬場安太郎、○天王村大字下石田小池彌一郎、小池平太郎、小池彌生、辰川重次郎、○天王村大字天王新田中村三五郎、池端金作、○天王村大字下石田杉山照作、木村リヤウ、○天王村大字岩田伊藤武平、小池信太郎、○天王村大字下石田榎土清吉、渡瀬要次郎、佐藤儀作、○中野村大字上大瀬名倉喜一郎、○市野村大字市野高橋伊吉、岡野平三郎、山本欽次郎、村松トハ、○吉川村三輪兼次郎、岡本與一郎、○蒲村字神立上村梅太郎、○蒲村字上新屋松本友太郎、○福嶋村山田嶋次郎、○尾瀬村加藤セン、○掛塚村字吹上小林與作、○和田村字長鶴影山伊八、○中ノ町村字長命磯部ハン、○敷知郡和地村字和地牧田小四郎、○曳馬村字中澤竹山銓太郎、○北庄内村新村善七、○曳馬村大字野口神谷真喜、神谷濤、○曳馬村大字中澤竹山善太郎、○曳馬村大字八幡高橋與一郎、○曳馬村大字助倍内藤庄三郎、○曳馬村大字富塚高山孝作、青木喜

三郎、○曳馬村大字高林加藤長重、○白脇村梅田ジン、清水チャウ、○引佐郡都田村神門鏡平、鈴木佐太郎、波多野牧太郎、須部與一郎、須部伊平治、宮司鯉三郎、神門保三郎神門慶次郎、森上太吉、森上佐七、森上定十郎、森上太郎吉、市川傳五郎、坂本佐五平、○駿東郡長泉村字竹原高橋國太郎、高橋彌作、大沼要助、大沼要右工門、○長泉村大字下土狩鈴木博夫、小澤幸三郎、高野義長、室伏平右衛門、○菅沼村岩田萬吉、岩田リウ、岩田八百藏、湯山剛平、湯山定五郎、岩田八十吉、岩田力藏、室伏幾太郎、室伏惣太郎、○清水村字德倉梅田良三郎、○清水村字的場贊川邦作、○北郷村渡邊政吉、小野幸太郎、○北郷村大字吉久保岩田健治、○北郷村大字阿多野遠藤佐太郎、○北郷村大字大御神中澤碩歳、○北郷村大字棚頭小野勇逸、小野平次郎、○北郷村大字一色林與一、御厨町大字御殿場高橋兼藏、○六合村大字湯舟池谷愛三郎、○六合村大字藤曲高杉勇藏、○足柄村大字新柴岩田房五郎、○富士郡岩松村大字岩本山崎又次、山崎スマ、影山市郎兵衛、○加嶋村字中嶋佐野巳男吉

○志太郡田尻村増井房一郎、○河合村片岡セイ、○安信郡安西町五丁目野田ツル、
 ○佐野郡垂木村大字上垂木榛村清七、○雨櫻村大字毛木中山錠吉、○粟本村大石敬
 次郎、○加茂郡上大見村大字地藏堂淺田仁策、飯田平作、○城東村大字大川木村用
 太郎、○城東村大字奈良本太八百作、○君澤郡並山村鎮善平、○修善寺村字修善寺大
 地寛二、○錦田村松村喜十郎、○田方郡葦山村字寺家内田鍬次郎、内田信一郎、鎮
 正義、○葦山村字中條松下榮作、○葦山村字寺家片山龍逸、○中狩野村字柿木高野
 半吉、○庵原郡横砂村平岡トシ、○志太郡小川村大字石津籾崎才一郎

● 三重 縣

桑名郡桑名町大字川口町丹羽善九左衛門、○員辨郡梅戸井村遠藤晋因三郎、○多藝
 郡相可村字弟國阪井孝、○安濃郡草生村紀平涉郎、○度會郡小川郷村奥村作藏、○
 員辨郡神田村字鳥取岩田廣孝、○南牟婁郡井田村ノ内寅吉○西虎吉、○度會郡古市
 町溝口作藏

● 山梨 縣

北巨摩郡穂坂村平賀富久、平賀庄造、平賀喜平、宮川九郎衛門、宮川兵庫、宮川嘉
 吉、宮川榮次、宮川佐吉、宮川彦市、宮川長治、平賀文太郎、飯窪長重、宮川金平
 宮川琴次郎、平賀平次郎、平賀要左衛門、○篠尾村中山五七、長坂庄作、中山樂平
 ○清春村高橋住三郎、○南都留郡盛里村日向登、

● 岐 阜 縣

下石津郡高須町渡邊歸一、渡邊イナ○席田郡群府村井上ヤス、○本巢郡山口村青木
 逸吉、○土岐郡餘戸村河合吉三郎、○惠那郡付知村西尾龜三郎、

● 滋 賀 縣

蒲生郡淺小井村北川伊之助、○山本村石岡猪三郎、○犬上郡彦根町大字金龜丁相馬
 八十吉、○高嶋郡市場村丹羽岩吉、

● 石 川 縣

高山社ハ藤岡町ノ高山社ニ非ズ日本ノ高山社ナリ

金澤市早明町今井勝太郎、○能美郡一針村堀鶴松、○羽作郡高濱町高瀬ノシ、○志雄村大字町池田勝太郎、○若部村大字尾長中嶋博正、○鹿嶋郡七尾町成田重雄、○田鶴濱村大字田鶴濱村大森トヨイ、○高田村三野ツ子、○赤藏村大字高田西住ヒデ○鳳至郡北川村田谷伊之吉、

● 福 井 縣

福井市尾上下町牧野常吉、○福井市大字江戸上町古石義照、○南久米郡武生町泉山口藤松、○福井市大字手寄仲町相澤保吉郎、○福井市大字足羽下町三好市太郎、○遠敷郡宮川村字新保松室保次郎、龜井五兵衛、竹中忠左工門、中村吉兵衛、山田卯三郎、荻野鶴之助、麻田龜吉、宮田五三郎、○熊川村字河内松岡長次郎、古橋和吉、○熊川村字新道前田淺次郎、○熊川村字河内中村源六、○熊川村字新造西野源七、宮田善助、○熊川村中尾大藏、青山安太郎、逸見嘉四郎、山本四郎左工門、掛谷藤吉、松尾文左工門、○遠敷村石田孫太郎、小林佐右衛門、○松永村永田京次郎、○足羽

郡和田村富田奥左衛門、○上字坂村字西天田泉田吉松、○麻生津村字中荒井松島吉吉右衛門、○上文球村奥出繁心、○吉田郡河合村字高屋小西平兵衛、中谷磯右工門○川合村字山室矢野久兵衛、小野田清平、○川合村字二日市加藤源太郎、五十嵐千代三郎、渡邊儀右工門、○川合村字高屋山本久左工門、○川合村字二日市寺井彦右工門、○川合村字山室中谷與吉、小野田重松、野尻與三平中谷與左工門、矢野利右工門、小野田茂右工門、酒井伊右工門、姉崎新兵衛、矢野權三郎、青山源七、○川合村字高屋齊藤彌五兵衛、吉川六郎右工門、○吉野村橋本直、菅原正、山本昆次郎、新木新平、森永善七、兒守京作、小倉仙藏、土上長吉、江守藤四郎、○坂井郡丸岡町字石城戸小原宗太郎、小原吉太郎、小原由太郎、○丸岡町字霞上田那角田祐義、能村利吉、三井權之丞、○坪井村字爪生村宮川ツタ、○本莊村大字東善寺江川與吉○本莊村大字玉木高嶋安吉、有田左市、牧田直正、○本莊村字宮前篠塚清五郎、○井伊村字井伊濱邊岩吉、齊藤市之丞、中島嘉三次、○本莊村字下番藤野市九郎、吉

田長左工門、○本莊村字宮前齊藤スサヲ、齊藤三郎衛門、○本莊村字下番野尻澳之助、○本莊村字新用白石任之、○細呂木村字橋屋清水榮松、○蘆原村字重義吉田市十郎、○大石村字上小森近間八兵衛、○鶉村字布施田田中善平衛、自閑惣右工門、三井忠左工門、○大石村中林伊右工門、近間十兵衛、高取四郎兵衛、石川義正、未永甚助、高間彌助、○大石村字大牧坪田俊太郎、○大石村字石塚區吉田久右工門、吉田市郎兵衛、吉田善兵衛、松浦庄左工門、○大石村字布施田新區大嶋治兵衛、○大石村字金剛寺區上野次左工門、○大石村字布施田新區大嶋彦右工門、○大石村字春江小林利左工門、○大石村字布施田錦織佐助、○大石村字鳥次伊藤利右工門、下川治右衛門、○大石村字西方寺澤治右衛門、竹内利太夫、○大石村字辻卷岡彌兵衛、○大石村字上小森中島彦兵衛、○大石村字分施田軒伊藤平右衛門、○吉崎村字北瀉佐孝俊太郎、○春江村字安澤片山敬四郎長谷川富士之助、牧田直正、矢陰多四郎、八尾八兵衛、伊藤新左工門、小林善太郎、石川多藏、有田長右工門、北林清太郎、

○遠敷郡宮川村字本保重田菊松、建矢熊藏、清水孫之森、河原幾太郎、高井覺藏、○宮川村字加茂前野藤藏、○宮川村字竹長清水茂兵衛、○宮川村字新保清水久五郎、○宮川村字大谷明河新助、○三宅村井ノ口清五郎、瀧元久藏水江源藏、三木長門、水江金藏土坂彌助、土坂直藏、玉井長兵衛、水江佐助、百田重藏、田中長吉、三木八百藏、三木利八、水江瀧吉、楯三省、水江參藏、玉井清太郎、辻本熊治郎、都築兵四郎、山本岩藏、橫井常三、小南芳藏、山本五郎、藤田代吉、○雲濱村大字上竹原田中未吉、○口名田村大字谷田部高取泰祐、○奧名田村字下小林省吉、○奧名田村字井上奧菊次郎、○口名田村字中井谷口小河辰次郎、○野木村字堤岡本喜右衛門、○今富村字府中森田柳次、○今富村大字生守南部卯八、○今富村大字野代澤田清五郎、○今富村大字湯岡畑中三郎助、濱野平四郎、○今富村大字府中三久保藏平、橫山丈治、津田銀藏、○熊川村藤井永惇、松本莊右工門、松本武十郎、竹下忠兵衛、○鳥取縣邑美郡行徳村濱本房太郎、○會見郡中濱村字佐斐神井田勝夫井田サヲ、

坪田正教、青柳條右衛門、久保久左工門、長谷部甚右衛門、○春江村字高江有田佐市、○兵庫村加藤富藏竹内互、○東十郷村字河和田真柄淺吉、○大安寺村谷口甫、伊藤藤右衛門、竹嶋忠左衛門、本田榮次郎、○正善造村牧田安左工門、○鶉村字波崎杉田タケ、○新保村高柴四郎兵衛、○三棟村竹内權八、○元小尉村面屋惣左工門富澤甚太郎、黒川久次郎、○木部村高嶋與左衛門、○内山梨村竹川清左衛門、○伊井村字池口小林榮次郎、○伊井村字桑原館屋與作、○伊井村字伊井阪東平右衛門、○今立郡新横江村齋藤久兵衛、齋藤帆楫、齋藤三郎一郎、堀甚兵衛、堀長右衛門、○岡本村字別印内田太三右衛門、内田五右衛門、○岡本村山下治左衛門、内田強吉、○岡本村字南阪下瀧呑勘左衛門、○岡本村字別印内田菊松、○岡本村字中印細川仁兵衛、○岡本村坂下笠嶋治之吉、○船津村字上鯖江齋藤六兵衛、○東小山村二口久太郎、○皆野村大字西尾飯田彌作、○岡本村字杉尾加藤清、○味真野村字宮谷山口ハツ、三田村綱杉本榎太郎、室田忠左衛門、加藤與平治、玉村吉十郎、松本嘉平

玉村彌兵衛玉村平三郎、玉村徳左衛門、三田村清右衛門、二口久松、伊吹宇三郎、○味真野村二口和三吉、○北日野村字矢放谷口治郎兵衛、○下池田村字松ヶ谷倉内幾太郎、○下池田村字上松ヶ谷井上勘左工門、井上小兵衛、○新横江村字東鯖江片山仁左工門、玉谷徳右工門、○舟津村字上鯖江田中九平、齋藤又兵、○舟津村字長專寺熊野九十郎、野形泰一、○舟津村字小黒町河野茂左工門、山本東兵衛、○舟津村字上黒町河野茂兵衛、○神明村字落山本雅雄清水龜九男清水六右衛門、○神明村字岡野畑彦兵衛畑伊平、田中吉左工門、吉村孫兵衛、○神明村字鳥羽柴田多左衛門、○神明村字田所吉村久左衛門、○中河村字下河端佐野茂樹、笠原長四郎、八田善左工門、福嶋計助、森川佐忠、佐々木金左工門、古村治郎吉、古村惣八、佐野角吉、畑中字作、藤田政次郎、○片上村字別所杉原爲次郎、杉本喜平、杉本治郎平、小嶋多吉、小嶋門三郎、牧田清平、小嶋與三松、杉原七助、澤本善五郎、杉原良雄、○片上村字四方谷富田旗次郎、中橋利平、山本佐治平、前田勘平、木下利左工門、井

本五太夫、富田與治平、○吉田村福田平右工門、

●富山縣

下新川郡三日市町朽谷安次郎、○船見町字相場村上野松次郎、○婦負郡保内村龜山久次郎、福山幸次郎、○蠣波郡東別所村山本佐一郎、○上新川郡濱加積村字坪川村村上茂三、○富山市黒瀬仙太郎、

●新瀉縣

西蒲原郡曲通村大字曲道間宮藤八、○北蒲原郡加治村仁瓶柳太郎、○加治村大字三日市高田利八郎、○中蒲原郡大蒲原村大字下大蒲原村難波馬八郎、○十全村大字戸倉弘宜喜一、○南蒲原郡今町山田德太郎、○田上村大字原ヶ新田小林玉吉、○加茂町本間ミヨ、○中蒲原郡川東村字猿和田熊倉勘太郎、熊倉善五郎、伊藤鉄五郎、○川東村字小山田齋藤房治、○川東村字小栗山刈部豊一、○西蒲原郡共和村青柳樽三郎、○原村大岩太市、○和納村字上和納中原信太郎、○三嶋郡岩田村小林巳三郎、

○古志郡中通村大字豊詰長谷川佐平次、○吉野村星野熊五郎、○福戸村大字高野中村長造、○草生津町土田又藏、○北魚沼郡堀ノ内町張田秀雄、○櫻町村金箱ミセ、○城川村字千谷川井口伊作、○南魚沼郡大富村大字西泉田山口富藏、山崎鼎、山田傳十郎、○三和村大字東泉田關德次郎、關忠次、桐生竹八、○中魚沼郡貝野村植木ジユ、○荻羽郡奈良澤村小林太忠治、○加納村長谷川榮吉、關幸平、○割町大字新田村猪俣榮次郎、○小淵村大字山淵五十嵐清八、○旭村字中田池嶋又一郎、○石地村字尾町細山熊八、○柏崎町中村治八、○東頸城郡大栃山村大瀧桃太郎、○松之山村大字太荒戸高橋萬雄、○中頸城郡柿崎町淺野淺三郎、○下黒川村字馬正面村神岡文次郎、○下黒川村大字川田木村藤吉、○下ノ郷村字大貫星野喜美藏、○谷濱村大字茶屋ヶ原青木彌惠務木不一郎、古川源太、古川傳四郎、古川專三郎、田中四郎平田中紋三郎、山本源七、山本エン、小林辰藏、○高城村大字馬場先鷺塚セン、鷺塚トウ、○大出口村大字代石石田道藏、○西頸城郡南西海村廣川諒、○岩船郡村上元

町安藤謙吉、○中蒲原郡川東村大字柄澤酒井彦七、○川東村大字中川新田中川三五郎、

● 京 都 府

何鹿郡廣瀬村坂根勝太郎、○中郡峯山町大字吉原谷部直吉、○加佐郡舞鶴町大字南田邊龜井藤太郎、○京都市下京區大宮北小路上ル村上健造、

● 大 坂 府

西成郡曾根崎村福山松之助、○能勢郡歌垣村大字倉垣與賴三郎、○豊島郡池田町入江清右衛門、○豊中村字岡町岸本精一、

● 奈 良 縣

添上郡奈良西寺林町飯田民藏、

● 兵 庫 縣

有馬郡山口村大字下山口公地傳之亟、○小野村大字小野赤井三平、○道場村字日下

部最上清太郎、○山口村字上山口細木喜作、○城崎郡豊岡町字新屋敷町河島祐造、○美含郡下岡村杉立源一郎、○氣多郡三方村字田口太田德造、○中筋村字伏白髭初造、○岡府村ノ内府市場村菅村辰造、○西氣多村ノ内栗栖野村和田由八郎、○養父郡義父市場村字内奥米地足立臺輔、足立貞雄、足立甚次郎、足立豊次郎、足立金太郎、足立長兵衛、佐藤林太郎、村崎佐太郎、安達鉄藏、宮本梅藏、秋山岩三郎、○大藏村字高田村足立重太夫、田路彦右衛門、○大藏村字宮田村藤野勝三郎、秋山義三郎、○大藏村字堀畑村高藤光治、朝熊勝三郎、○大藏村大字法道寺細田猪三、○大藏村○宮田村尾崎信太郎、○糸井村字林垣佐藤繁、吉井亥太郎、福富太平寺川源之助、黑澤庄司、杉嶋嘉三郎、佐藤定次郎、松上九郎左衛門、朝倉柳三郎、朝倉心齊、○糸井村字朝日川見定平、中嶋岸太郎、川見勝治、中嶋涉吉、朝日彌之助、徳綱淺右衛門、佐藤久左工門、○糸井村字和田村足立勘右工門、大槻佐太郎、○糸井村字竹之内齋藤甚太郎、西尾徳右工門、足立富藏、中村佐四郎、仲村源吉、中村定吉、吉

田久右工門、陰山キヤウ、陰山幾太郎、陰山平藏、陰山吉良兵衛、廣田長五郎、仲村定助、仲村伊右衛門、岩田長吉、中村九平、○大藏村字宮田足立要之助、○大藏村字寺谷伊木貞太郎、○大藏村字宮田小谷慶次郎、○大藏村字土田小出秀濟、○朝來郡牧田村字西牧田内海芳藏、○加東郡瀧野村字河高廣田傳次、○加茂村松尾繁市

○道場村最上清太郎、○三原郡七江村小川フシ、○神稻村正木イチ、○出石郡出石町岡野琢磨、○室植村ノ内日野村國村信義、○養父郡養父市場村字中米地宮本勘藏藤本良平安達石松、○養父郡市場村字奥米津村崎德太郎、清水百藏、足立増太郎、

● 鳥 取 縣

鳥取市片原町三原直顯、○餘子村大字福定佐近益榮、○上道村藤本軾太郎、○餘子村字竹内石長松之亟、○久米郡倉吉町福山久吉、

● 嶋 根 縣

松江市松江分町石倉仁之助、○安濃郡太田村石井清太郎、○邑智郡三原村平田文一

○那賀郡波佐村佐竹又八郎

● 岡 山 縣

真嶋郡垂水村林龜三郎、○大庭郡中島村國米林一郎、○久世村大字三坂岡田辨次郎

○榎野村福嶋キクノ、○西々條郡中谷村一與奎三郎、○芳野村字古川河田熊次郎、○大野村大字和田日笠ヌイ、日笠サク、○富村大字大岡上鹿一郎、小川幸雄、○大野村字和田日笠則敏、○院ノ庄村朝比奈尙義、○西北條郡津山町字山下町中嶋正一郎、○總社村竹内徳市小林柳治、○一宮村字田ノ邊瀬嶋小一、桑山國五郎、○香々美南村字公保田衣笠正義、○英田郡瀧宮村櫻井治三、○勝北郡右手村皆木市郎、○久米北條郡三保村字田上元治、○佐良山村、字北岩野覺治、○佐良山村字井口字那木彦四郎、字那木孝一、字津木吉二、○津高町字其東村戸田コウ、○赤坂郡字福田難波民治、○竹枝村岸傳三郎、○磐梨郡吉岡村字宗堂篠野竹次郎、○和氣郡伊部村木村虎三、大橋玉五郎、○足所村大國利太郎、○若木村池田清太郎、○上道郡金岡

村細川孝左、○兒嶋郡日比村字日比小林幸次郎、○小田郡中川村字江良笠本兼吉、
渡邊一夫、○山田村字中山邊壽一郎、○笠岡港字富岡北村タカ、○三谷村江尻易三
郎、○中川村奥村長十郎、○賀陽郡福谷村字眞星江田守二、○上房部巨瀬村横見貞
二、○和氣郡伊部村大橋玉五郎、

● 廣 嶋 縣

世羅郡吉川村福原好衛門、○深津郡福山町百々三郎、○廣嶋市の塙町字樋ノ口坂井
算造、○芦田郡福相村字福田小野好助、○品治郡服部村三條吉丸、○神石郡永渡村
字永野井上龜一郎、○油木村岡唯一郎、○三次郡板木村字羽出庭村川俊雄、○高田
郡三田村井上唯吉、已斐願之吉、永井ミワノ、○小田村字高田原高橋一眞、○賀茂
郡西條町増田定之介、○寺西村岡村純一郎、○豊田郡御手洗町小早川梅代、○惠蘇
郡口北村字大月原四十七、

● 山 口 縣

熊毛郡島田村守田微流、○都濃郡久保村山崎有丸、○豊井村武居茂市、武居嘉作、
○吉敷郡西岐波村宇多川武一、○井關村字井關福重ミ子、○阿武郡明木村津森乙熊
○佐々並村田邊新次郎、○萩町赤川義一、○厚狹郡宇部村字上川萩田織江、○佐波
郡中之關村田中定一、

● 和 歌 山 縣

和歌山市南相生町那須チカ、○和歌山市分銅町有木熊楠、○西牟婁郡富二橋村知野
榮太郎、

● 德 嶋 縣

美馬郡脇町木村彌三郎、松村永二郎、

● 香 川 縣

多度郡山階村林民之祐、○香川郡高松町平尾吉太郎、○山田郡古高松村谷野スミ、
○瀉元村中村清次郎、○豊田郡豊田村片山久良二、○多度郡吉米村字碑殿大塙保一

高山社ハ藤岡町ノ高山社ニ非ズ日本ノ高山社ナリ

● 高 知 縣

高知市東唐人町足立藤馬、○吾川郡伊野村吉本楠榮、○弘岡下ノ村中山鹿吉、○秋山村字元秋山岡崎伊佐馬、○仁西村前田愿信、○清水村山内茂猪、○長岡郡豊村字中嶋田中悅馬、○吉野村字屋所筒井寅衛、川村豊次、○瓶岩村字宍崎西内繁馬、○本山村字本山宮田益吉、○高岡郡日下村字本郷橋詰楠馬、○熊津村田村桐吉、○高岡村今村スカ、○土佐郡潮江村板垣銕太郎、○高知市種崎町野村舛二、○香美郡山田野地村字東町宮地良致、○山南村池上勇治、○幡多郡小築紫村萩野鈔太郎、

● 愛 媛 縣

周布郡田野村字上方野口滋太郎、○石根村字妙口菅耕次郎、○東宇和郡中筋村字平野三好龜榮、○西宇和郡眞穴村字穴井竹中キヨ、○温泉郡松山萱町一丁目田村モト、○越智郡瀬戸崎村字甘崎越智寛三郎、○下浮穴郡出測村大南省三、

● 福 岡 縣

宗像郡稻本村伊藤鶴吉、瀧口國助、○上妻郡鶴江村藤嶋惣太郎、○岡山村鶴田圓次郎、○志摩郡今津村石田辛、○上座郡久喜宮村畑ミツ、○佐野郡栗本村大石敬次郎、○上妻郡鶴池村木下惣太郎、○京都郡稗田村村上健藏、○上妻郡中廣川村字日吉原鹿之助、

● 大 分 縣

宇佐郡比馬城村字岩崎都留安久、○宇佐町桐畑忠次郎、○下毛郡鶴居村字湯屋成瀬駒太郎、○中津町原田達吉、○中津町字古金谷町松井敬次、○北海部郡臼杵町北山龜藏、幸千太、○海添村立川速水、○佐賀村字大原挾間虎吉、○南海部郡佐伯町山口四郎、○直入郡豊國村谷照彦、○西國東郡臼野村宗盟次郎、○大分郡別條村姫野敏藏、○野津原村武智照磨、○玖珠郡森村高倉彦五郎、

● 佐 賀 縣

藤澤郡古枝村最所辰馬、○吉田村井出安一、○杵嶋郡北方村牛嶋秀實、

● 熊 本 縣

合志郡大津町熊見三郎、○上益城郡龍野村佐川成海、田上清士、○阿蘇郡錦野村字岩坂合志治、○宮地村畠中富雄、○八代郡八代本町石山善作、○高田村郡德隣、○龍峰村上村敬次郎、○八代町箕田三雄、○山鹿郡未田村大字南嶋有働又三、○下益城郡中山村字白石野長木市松、○山鹿郡兵間村字權持浦田寛次郎、○宇土郡綠川村字野鶴菊地洗心、○玉名郡築山村字山田林知樹、

● 長 崎 縣

東彼杵郡折尾瀬村奥田茂一郎、○福重村山口丑郎、○西彼杵郡西浦上村字西郷浦木廣瀬フジ、

● 宮 崎 縣

宮崎郡生目村高妻勝彦、○北諸縣郡莊内村高橋鶴、助

● 鹿 兒 嶋 縣

薩摩郡平佐村柏田盛豊、柏田エタ、福山マツ、○入來村本田宗助、○知覽村字郡森穂積、○下東郷村字田海後藤嘉一郎、○南伊佐郡山崎村長野榮之助、○大村字下ノ手指宿良満、○宮城村字也池村上サヨ、○始良郡加治木村字混沙門松本萬右工門、○反土村福永新五郎、岡山龍太郎、○高城郡水引村字東水引萩原榮之助、○日置郡伊集院村字德重永田軍治、○給黎郡反土長崎勇熊、○阿多郡湯ノ上村千田孫一、○日置郡中伊集院村字德重吉利新熊、○西嚙啖郡敷根村黒田實彦、柿原平八郎、指宿節指宿清、始良安彦、山口勇吉、高野侃、○國府村村國喜太郎、○西國府村留守珍彦川添源次郎、○福山村松下兼高、和田盛高、竹下助次郎、○敷根村字麓鹽田五右工門、市原アサ、○敷根村字濱岩重製波助、○敷根村字麓ヌル木壽一、妹尾兼義、池田萬次郎、○嚙啖郡國府村山内俊良、服部喜壽、安樂兼繁、安樂勇次郎、石塚榮次、坂本敬助、坂本勇之助、○國府村大字上小川荒田イマ、三雲八十、荒田郷右工門、安樂萬治、安樂ミサ、石塚仲兵衛、○高城郡東水引字大小路石塚才助

● 沖 繩 縣

首里儀保村喜屋武朝徳、●此他群馬縣ニ在ル社員數千名ハ之ヲ畧ス

第十八章 養蠶改良高山社規則

第一章 總 則

- 第一條 本社ハ蠶業改良ヲ目的シ清温育法ヲ汎ク諸人ニ教授スルヲ以テ本旨トス
- 第二條 本社ハ養蠶改良高山社ト稱シ群馬縣綠野郡藤岡町ニ事務所及傳習所ヲ設置ス、但シ事業ノ伸張ニヨリ傳習支所ヲ置クコトヲ得
- 第三條 本社ノ年限ハ明治二十七年三月ヨリ滿十ケ年トス滿期ニ至リ繼續スルト否トハ社中ノ協議ニヨル
- 第四條 本社ノ社員タラント欲スルモノハ當事務所へ第一號書式ノ願書ヲ差出スベシ(第一號書式略ス)
- 第五條 入社承諾ノ上ハ第二號書式ノ社員証ヲ附與シ入社束修トシテ一戸ニ付キ

金壹圓ヲ領收ス、但如何ナル事故アルモ既收ノ束修金ハ返却セス(第二號書式畧ス)

第六條 本社ヨリ派遣スル授業員ノ俸給ハ之ヲ其授業員ニ渡ス可キモ豫メ定メタル歩合ヲ義務金トシテ本社ノ費用ニ充ツルモノトス、但シ義務金ハ當分俸給百分ノ十五トス尤モ定式會ノ議決ニヨリ増減スルコトヲ得

第二章 役員及職務

第七條 本社ノ役員及職務左ノ如シ
社長一名、副社長二名、教授長一名、監査員二十名、授業員無定員、授業補無定員、會計一名、書記二名、給仕一名、

第八條 名譽役員左ノ如シ

協議員二十名、世話人無定員、但シ本條及前條ノ役員ハ兼任スルコトヲ得

第九條 社長ハ社業ノ全体ヲ總理シ本社一切ノ責ニ任シ且會議ノ議長タルヘシ

第十條 副社長ハ社長ヲ補佐シ社務ヲ分擔シ社長不在ノ節ハ之ガ代理タルベシ

第十一條 教授長ハ本社傳習所ノ教授ヲ主トリ正副社長不在ノ節ハ之レガ代理タルベシ

第十二條 會計ハ社長ノ指揮ニ從ヒ本社一切ノ金圓出納ヲ主トリ其決算明細書ヲ調

製スルモノトス

第十三條 書記ハ社長ノ指揮ニ從ヒ本社一切ノ記録ヲ編纂シ且ツ往復文書報告等ノコトヲ整理ス

第十四條 監査員ハ専ラ蠶室檢査ヲ主トリ社員業務上ノ成績ヲ監査シ社長ニ報告スルモノトス

第十五條 授業員及授業補ハ社長ノ指示ニヨリ受持養蠶家ヲ教授シ掃立ヨリ成繭迄其業ニ從事スルモノトス、但シ殺蛹法及製種法ヲ教授スルト否トハ教授員ト社員トノ相互ニ任ズ

第十六條 協議員ハ臨時會定式會協議會ニ出席シ本社ノ利害ヲ商議ス

第十七條 世話人ハ其組合ノ事務ヲ調理スル爲メニ本社ノ事務ヲ分擔スルモノトス

第三章 會 議

第十八條 會議ハ總會臨時會定式會協議會講習會ノ五會トス

第十九條 總會ハ本社ノ興廢業務ノ進退ヲ議定シ之ヲ永遠ニ保持スルノ策ヲ決ス

第二十條 臨時會ハ授業員及協議員世話人ヲ以テ組織シ該員五十名以上ノ請求ニ由ルカ又ハ社長ニ於テ必要ト認ムル時ニ開會ス

第二十一條 定式會ハ每年二月中旬ヲ以テ開會シ授業員協議員ヲ以テ組織シ本社一

切ノ經費豫算ヲ決ス又役員ノ褒貶ニ關スルコトヲ議ス

第二十二條 協議會ハ社長ニ於テ臨時必要ト認ムル時ハ協議員ヲ招集シテ開會ス

第二十三條 講習會ハ授業員及授業補ヲ召集シ毎年三月ヲ以テ開會スルモノトス

第二十四條 凡テ會議ハ出席員過半数ノ同意ヲ以テ決定シ議事ハ凡テ普通會議法ニ由ルモノトス

第二十五條 凡テ會議員出席スルコト能ハザルモ已ニ議決セル條件ニ就テ異議ヲ容ル、ヲ得ズ

第二十六條 議案ハ社長之ヲ發シ其説明ハ自身又ハ代人ヲ以テス

第四章 役員選任及其任期

第二十七條 社長ハ先例ニヨリ上任シ無任期トス

第二十八條 副社長教授長及監査員ハ社長ノ特選ニシテ其任期ハ滿四ケ年トス

第二十九條 授業員及授業補ハ入社後三年以上ヲ經過シ業務熟達ニシテ品行正シキ者ヲ社長ニ於テ選任ス

第三十條 協議員ハ社員中ヨリ社長ニ於テ特選シ其任期ハ滿四ケ年トス

第三十一條 世話人ハ其地方社員ノ協議ニヨリ之ヲ定ム

第三十二條 會計及書記ハ社長ノ特選トス

第三十三條 本社役員ニシテ其任ニ堪ヘザルカ又ハ不正ノ行爲アルトキハ定式會ノ議決ニ由リ臨時交代セシムルコトヲ得

第三十四條 各地派遣授業員及授業補ハ毎年試験ノ上其成績ニヨリ第三號書式ノ免狀ヲ附與シ其効力ハ一ケ年限リトス(第三號書式畧ス)

等 五章 收入 支出

第三十五條 本社ノ維持方法ハ左ノ項目ニヨル

收入ノ部 入社束修金、授業料、傳習所收益金、寄附金、

支出ノ部 薪炭筆墨紙費、事務所及傳習所維持費、社長以下報酬、授業員

俸給、雜給、通信往復費、旅費日當、會議及試験費、備附品及

消耗費、公租及營繕費、交際費及雜費、慰勞手當金、

第二十六條 本社會計ハ毎年一月ヲ以テ收支ヲ精算シ贏餘アル時ハ驛遞局又ハ銀行ニ預ケ貯蓄スルモノトス

第六章 本社傳習所規則

第二十七條 當所ハ清溫育養蠶法ヲ社員ニ教授スル所トス

第二十八條 當所ハ飼育改良ノ点ヲ社員ニ知ラシムルガ爲メ毎年明細ナル養蠶ノ日誌及一自表ヲ製シ之ヲ事務所ニ差出スモノトス

第三十九條 當所ノ生徒タランコトヲ望ムノハ左ニ掲クル各項ニ合格センコトヲ要ス

第一項 体格強壯ノ者

第二項 年齢十八年以上ノ者

第三項 品行方正ノ者

第四十條 格生徒ヲ分ツテ二種トス、

第一種 本社傳習所ニ限リ教授ヲ受ル者ヲ本科生トシ人員三十名以内トス

第二種 本社々長指定スル熟練家ニ付キ教授ヲ受クルモノニシテ人員ハ三百名以内トス

第四十一條 生徒ノ入場ハ毎年四月一日ヲ以テシ退場ハ六月三十日限リトス

第四十二條 入場ヲ乞フモノハ七月一日ヨリ二月二十八日マデニ第四號書式ノ願書

ヲ認メ當所ヘ差出スベシ尤モ滿員シタル時ハ謝絶スルコトアルベシ(第四號書式畧ス)

第四十三條 生徒自身ノ費用ハ都テ自辨タルベシ

第四十四條 生徒怠惰ニシテ進歩ヲ見ズ又ハ教授長ノ指揮ニ背キ品行不正ニシテ卒業ノ自途ナキモノハ退所セシムルコトアルヘシ

第四十五條 生徒ノ修業ハ一年ヲ一期トシ三ケ年ヲ以テ卒業スルモノトス

第四十六條 生徒ハ一期毎ニ其種別ニ從ヒ第五號書式ノ修業証ヲ附與シ全科卒業ノモノニハ第六號書式ノ卒業証ヲ附與スルモノトス(第五號第六號書式略ス)

第四十七條 教授科目左ノ如シ

蠶種貯藏法、蠶種催青法、蠶兒飼育法、蠶種製造法、生繭殺蛹法、繭貯藏法、蠶室構造法、顯微鏡使用法、桑樹栽培法、

第四十八條 授業時間教授長ノ定ムル所ニ依ル

第四十九條 凡テ生徒ハ試験ノ上其成績ニヨリ甲乙丙ニ分チ免狀ヲ附與ス

第五十條 試験ハ教授長之ヲ行ヒ社長并ニ監查員臨席ス

第五十一條 凡テ蠶室ノ出入ハ必ズ教授長ニ告グ其許可ヲ受ク可シ但シ參觀人及生徒心得ハ別ニ之ヲ設ク

第五十二條 生徒中ニ頭取及書記若干名ヲ置キ教授長ノ特選トス

第七章 傳習支所規則

第五十三條 支所ハ本社傳習所規則ニヨリ業務ヲ實行スル所トス

第五十四條 總テ支所ヲ設立スルハ確固タル資格ヲ有シ將來維持ノ目的アルモノニ限リ之ヲ許ス尤モ支所ヲ設立セントスルモノハ其維持ノ方法ヲ願書ニ認メ發起人又ハ創立委員ニ於テ署名捺印シ本社へ差出スヘシ

第五十五條 支所ヨリ支所ヲ置キ又ハ授業員ヲ派遣スルコトヲ許サス

第五十六條 支所役員ハ其部内ニ於テ定メタル上ハ本社々長ノ許諾ヲ得ルモノトス

第五十七條 支所々長ハ本社へ對シ副社長ト同一ナル資格ヲ有スルモノトス

第五十八條 支所ノ養蠶教授ヲナスモノハ本社ノ免狀ヲ所持スル者ヲ以テ之ニ任ス

第五十九條 支所ニ於テハ毎年其養蠶ニ關スル諸件ヲ本社ニ通知スルハ勿論其年ノ掃立蠶量及其收繭額ハ精密ナル日誌ヲ編シ之ヲ本社へ差出スモノトス

第六十條 支所ニ於テモ生徒ノ卒業証ヲ附與スルコトヲ得尤モ試験ノ際ハ本社役員ノ立會ヲ受クヘシ、但シ免狀ハ第七號書式ニ依ル(第七號書式略ス)

第六十一條 支所ノ紹介スル授業員ハ本社ヨリ派遣スルモノトス

第六十二條 支所ハ入社ノ申込アリシ時ハ其都度本社へ届出ベキモノトス

第六十三條 支所ノ紹介ニ依リ本社へ入社シタル社員ノ証ハ支所長ヲ經テ附與スルモノトス

第六十四條 支所ノ紹介ニ依リ派遣スル授業員ノ俸給ハ凡テ本社規則第六條ニ由リ領收シ其授業員ニ渡スモノトス

第六十五條 支所ノ紹介ニテ領收セル入社束修金及授業員ノ義務金ハ其五分ヲ支所費用ノ補助ニ充ツルモノトス

第八章 雜 則

- 第六十六條 授業員ヲ依頼セントスルモノハ適宜依頼書ヲ認メ毎年二月十五日迄ニ
申込ミ本社承諾ノ上ハ更ニ第八號書式ノ約定書ヲ差出スベシ本社ニ於テハ第九
號書式ノ承諾書ヲ差出スモノトス(第八號第九號書式略ス)
- 第六十七條 授業員派遣ノ後其授業員疾病又ハ不得止事故アルトキハ他ノ授業員ヲ
以テ之ニ代ラシメ本社ハ其旨ヲ依頼者ニ通知スルモノトス
- 第六十八條 授業員配置ハ本社役員協議ノ上之ヲ定ム
- 第六十九條 授業員欠乏ヲ告ケ其請求ニ應ジ難キトキハ特ニ役員ヲ派遣シ蠶室ヲ檢
査シ及飼育法ヲ説明スルコトアルベシ
- 第七十條 授業員補ハ派出前第十號書式ノ受書ヲ差出スヘシ(第十號書式略ス)
- 第七十一條 本社諸帳簿ハ社員ノ請求ニヨリ閲覽セシムベキモ事務ノ都合ニ依リ拒
辭スルコトアルベシ
- 第七十二條 本社役員ハ進退毎ニ其筋へ届出ツルモノトス
- 第七十三條 蠶業ノ改良ヲ計ル爲メ講師ヲ招聘スルモノアルトキハ社務ノ都合ニ依
リ許諾スルコトアルベシ
- 第七十四條 社員自製ノ繭糸及蠶卵ヲ博覽會其他諸會ニ出品スルトキハ附票ニ高山

- 社員何某ト記載スルモノトス尤モ本社々名ヲ濫用スルコトヲ許サズ
- 第七十五條 社員ニシテ本社ノ体面ヲ汚シ若シクハ社則ニ違背シタルモノアルトキ
ハ定式會又ハ臨時會ノ決議ヲ以テ退社セシムルコトアルヘシ
- 第七十六條 傳習支所ニシテ本社規則ヲ實行スルコト能ハズ又ハ維持ノ見込ナキト
キハ定式會又ハ臨時會ノ決議ヲ以テ閉所セシムルコトアルベシ
- 第七十七條 本社ニ對シ特ニ効勞ノ著シキモノアルトキハ定式會ノ決議ニ依リ其功
績ニ報ユルコトアルベシ
- 第七十八條 本社ノ印章左ノ如シ(印章畧ス)
- 第七十九條 本社ノ帳簿左ノ如シ
社員臺帳、社員名寄帳、入社束修金收入簿、授業料收入簿、役員俸給割渡簿
旅費日當支拂簿、事務所經費出納簿、傳習所經費出納簿、役員名簿記錄簿、
日誌、
- 第八十條 報酬俸給旅費左ノ如シ(報酬俸給旅費額畧ス)
- 第八十一條 此規則ヲ改正増補スルハ總會ノ決議ニ依ル



高山長五郎傳一名養蠶改良高山社來歷終

明治二十七年十二月二十日印刷
明治二十七年十二月廿一日發行

定價金二十錢

群馬縣那波郡上陽村大字東善養寺村七番地

著作兼發行者 新井茂平

栃木縣足利郡足利町大字足利百九十一番地

印刷者 飯塚芳藏

栃木縣足利郡足利町大字足利百九十一番地

印刷所 荒井活版所

群馬県立図書館



0785258-5